

禮文郡

香深村

神崎村

船泊村

天忍村

紗那警察署部内

留別分署

位置

紗那郡留別村

所轄

紗那郡ノ内

留別村

振別郡

振別村

老門村

擇捉郡

内保村

丹根萌村

藥取分署

位置

藥取郡藥取村

所轄

藥取郡

藥取村

乙今牛村

(令第五拾四號)

五月二十一日

厚岸郡役所濱中出張所ヲ廢シ厚岸郡柳町ニ戸長役場ヲ置キ柳町濱中  
村琵琶瀬村散布村後靜村ヲ管セシメ全郡霧多布村ニ戸長役場ヲ置キ  
該村ヲ管セシム

(令第五拾五號)

五月二十二日

千嶋國色丹郡へ左ノ一村ヲ設ク

斜古丹村



(令第五拾六號) 五月二十五日

千嶋國紗那郡紗那病院ヲ廳立トシ根室病院所屬留別出張病院及ヒ内保派出所藥取派出所ヲ紗那病院ノ所屬トス

(令第五拾七號) 五月二十五日

町村立病院ノ經濟ヲ補助スル爲メ補助金配賦規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

但明治十七年<sup>月</sup>一函館縣甲第三拾六號布達ヲ廢ス

町村立病院補助金配賦規則

第一條 補助ノ金額ハ毎年度ノ始ニ於テ之ヲ告示スヘシ

第二條 補助金ハ毎年二期(四月<sup>十月</sup>)所轄郡區役所ニ配付ス

第三條 補助金ハ醫員俸給ノ外他ニ支消スルコトヲ得ス

第四條 補助金ノ遣拂ハ毎年度末ニ於テ其人員金額ヲ統計シ郡區長

ヨリ之ヲ長官ニ報告スヘシ

(令第五拾八號) 五月二十八日

施療規則左ノ通相定メ本年六月一日ヨリ施行ス

但明治十七年<sup>月</sup>九根室縣甲第五拾六號布達及全十八年<sup>月</sup>二函館縣甲第拾號布達ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

貧窮患者施療規則

第一條 本道人民疾病ニ罹リ貧窮ニシテ自費治療シ能ハス施療ヲ受ントスルモノハ此規則ニ據ルヘシ

第二條 此規則ニ依リ施療ヲ受ク可キモノハ左ニ記載シタル貧窮者ニ限ルモノトス



一 地方税ノ戸數割及ヒ區町村費ノ賦課ヲ免除シタル者並其家族  
一 賑恤規則ニ據リ救育米ノ給與ヲ仰ク者並其家族

第三條 施療ヲ受ケント欲スル者ハ所轄郡區役所又ハ戸長役場ニ申  
出施療券ヲ受クヘシ

第四條 施療券ヲ受取タル者ハ券面ニ記載スル病院又ハ開業醫ノ治  
療ヲ受クルコトヲ得

第五條 施療券ハ一人一枚トシ交付ノ月ニ限り其効ヲ有ス若シ翌月  
ニ涉リ疾病尙全癒セサルトキハ更ニ新券ヲ受クヘシ

第六條 疾病全癒セシトキ又ハ他郡區他部内へ移轉シタル時ハ己ニ  
受取タル施療券ヲ當初發付セシ郡區役所戸長役場ニ還納スヘシ  
新券ヲ受タルハ舊券還納ノ手續亦全シ

第七條 水火盜難若クハ遺失毀壞等ニ依リ施療券ヲ失フタルハ當  
初發付セシ郡區役所戸長役場ニ申出新券ニ施療券ヲ受クヘシ

(令第五拾九號) 五月三十日

明治十六年<sup>四</sup>根室縣甲第拾貳號布達海產營業雇主並被雇人取締規則  
ヲ廢ス

(令第六拾號) 五月三十一日

龜田外六郡各村ノ内戸長役場ヲ設置廢合スルコト左ノ如シ

一 龜田郡石崎村戸長役場ヲ廢シ同郡錢龜澤外三ヶ村戸長役場ニ合  
併ス

一 龜田郡龜尾村ヲ同郡龜田外七ヶ村戸長役場ノ管轄ニ移ス

一 歌棄郡有戶外三ヶ村戸長役場及同郡作開外一ヶ村戸長役場ヲ廢



- シ同郡湖路村ニ戸長役場ヲ置キ同村及美谷村種前村有戸村作開村熱鄕村ヲ管轄セシム
- 一嶋牧郡本目外二ヶ村戸長役場ヲ廢シ永豊外三ヶ村戸長役場ニ合併ス
- 一様似郡ノ内幌滿誓内兩村ヲ同郡様似外五ヶ村戸長役場ノ管轄ニ移ス
- 一釧路郡鳥取村ニ戸長役場ヲ置キ全村ヲ管轄セシム
- 一阿寒郡舌辛村ニ戸長役場ヲ置キ全郡各村ヲ管轄セシム
- 一擇捉郡内保村ニ戸長役場ヲ置キ同村及丹根萌村ヲ管轄セシム
- 一網走郡活汲村ニ戸長役場ヲ置キ同郡同村及杵端邊村美幌村古梅村達媚村縦木倉村ヲ管轄セシム

(令第六拾壹號) 六月一日

官有地貸下規則左ノ通定ム

但明治十九年<sup>月</sup>本廳乙第九號達及全年<sup>月</sup>一函館支廳乙第壹號達第三項第四項及全年<sup>月</sup>二根室支廳甲第三拾四號布達ハ廢止ス

官有地貸下規則

第一條 官有既成地及北海道土地拂下規則ニ據リ拂下難キ土地ハ此規則ニ據リ貸下ヘシ

第二條 貸下願出ルトキハ保証人連署其土地ノ略圖<sup>第二式</sup>ヲ願書<sup>第一式</sup>ニ添ヘ差出スヘシ

第三條 官有地貸下期限ハ左ノ各項ニ依ルヘシ  
五ヶ年以内

耕宅地、河岸場、魚島磯場、海産乾場、土石取揚場、類



一ヶ年以内

諸物品置場ノ類

三ヶ月以内

社寺境内休憩所ノ類

第四條 貸下許可ノ際ハ手數料金八厘上納貸地証申受クヘシ

第五條 貸地料ハ地價百分ノ一トス

第六條 凡ソ官有地ノ借地料ヲ期限ノ通上納セサルモノハ其貸下ヲ

取消スヘシ此場合ニ於テハ假令如何ナル勞費アルモ其償ヲ下付セ

サルモノトス

第七條 凡ソ官有地貸下許可ヲ得タル者ハ其當初出願ノ目的ニ隨テ

之ヲ使用スルヲ得ルト雖モ他人ヘ書入質入ヲ爲スコトヲ得サルモ

ノトス

但不得已事故アリテ轉貸セント欲スルトキハ願出ヘシ

第八條 凡ソ官有地貸下期限中公益又ハ官用ニ依リ返地ヲ命シタル

トキハ其日ヨリ三十日以内ニ返納スヘシ

第九條 年ヲ以テ貸渡シタル土地繼年期ヲ請ハント欲スルトキハ三

ヶ月以前ニ願<sup>第三</sup>式出ヘシ但貸下期限内ノ返地ハ願<sup>第四</sup>式出期滿返地

ハ届<sup>第五</sup>式出ヘシ

第一號式

土地拜借願

國郡町村字番地別紙圖面ノケ所

一宅地又ハ

何坪

但明治<sup>何年</sup>何年何月ヨリ全<sup>何年</sup>何年迄<sup>何ヶ年</sup>何ヶ月間

右ハ官有地貸下規則ヲ遵守シ何々<sup>使用ノ目ノ爲メ</sup>拜借仕度別紙圖面相<sup>的詳記</sup>



添保証人連署此段奉願候也

府縣北海道國郡區町村番地

華士族平民

(當時國郡區町村番地寄留)

願人 氏 名 印

府縣北海道國郡區町村番地

華士族平民

(當時國郡區町村番地寄留)

保証人 氏 名 印

郡區長某殿

前書之通出願候ニ付進達候也

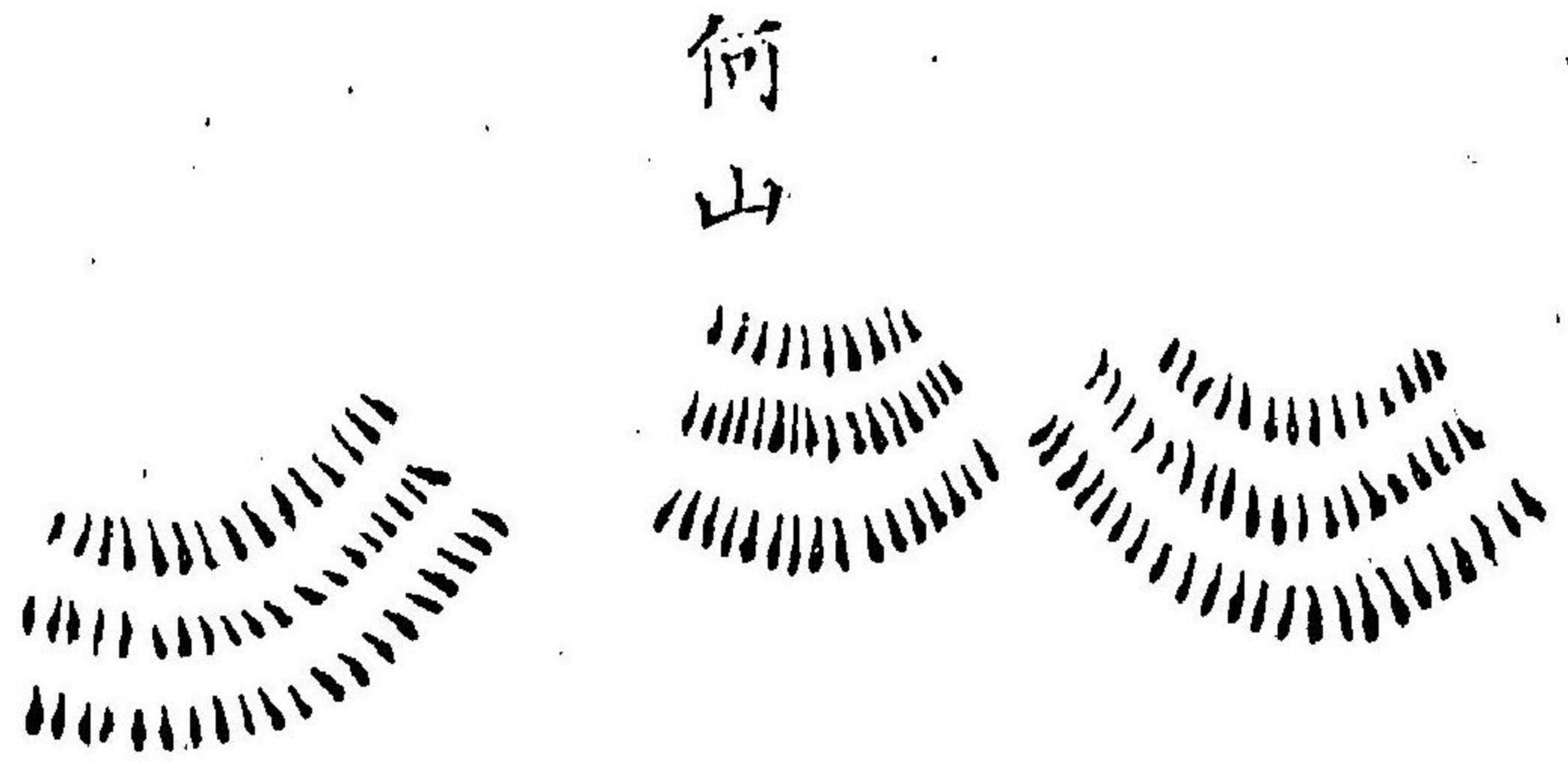
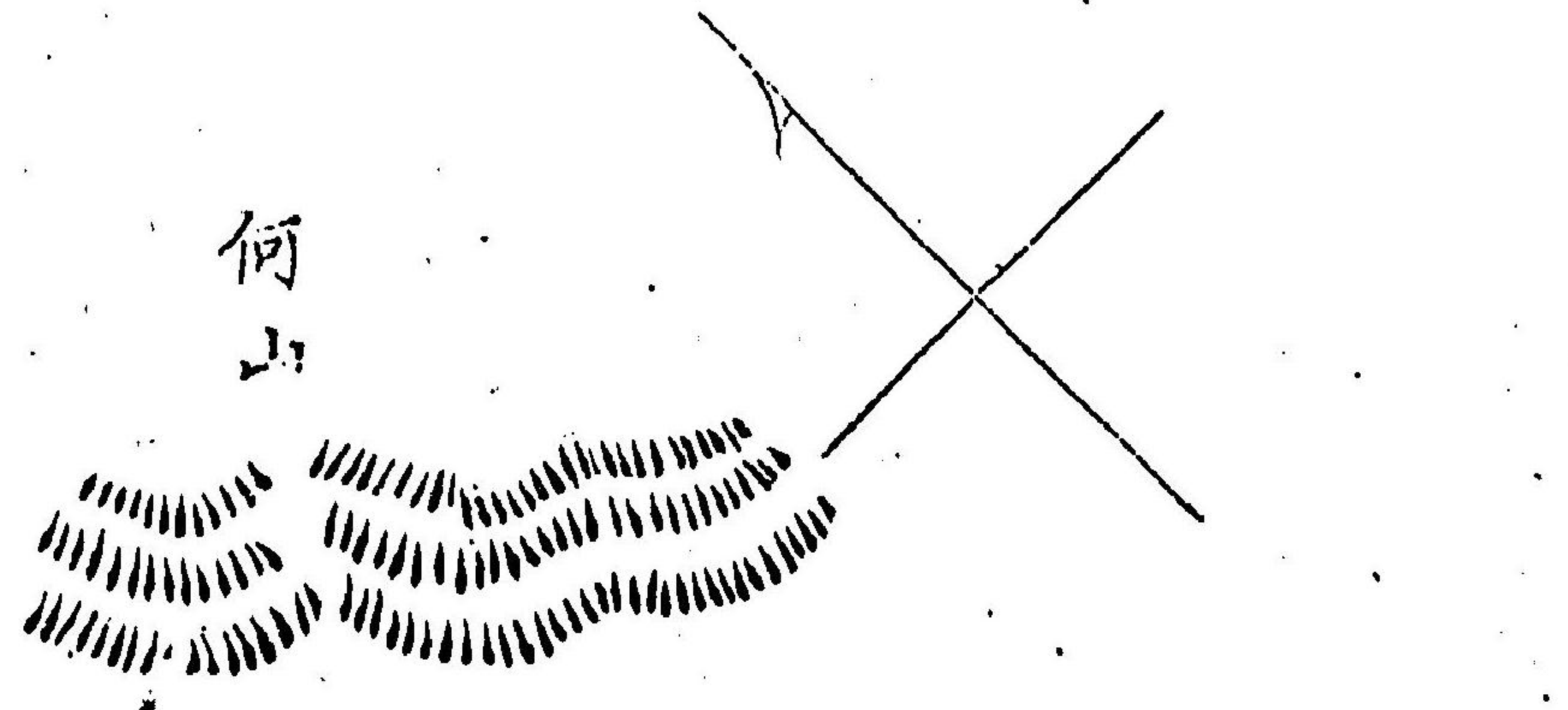
郡區町村

戸長 某 印

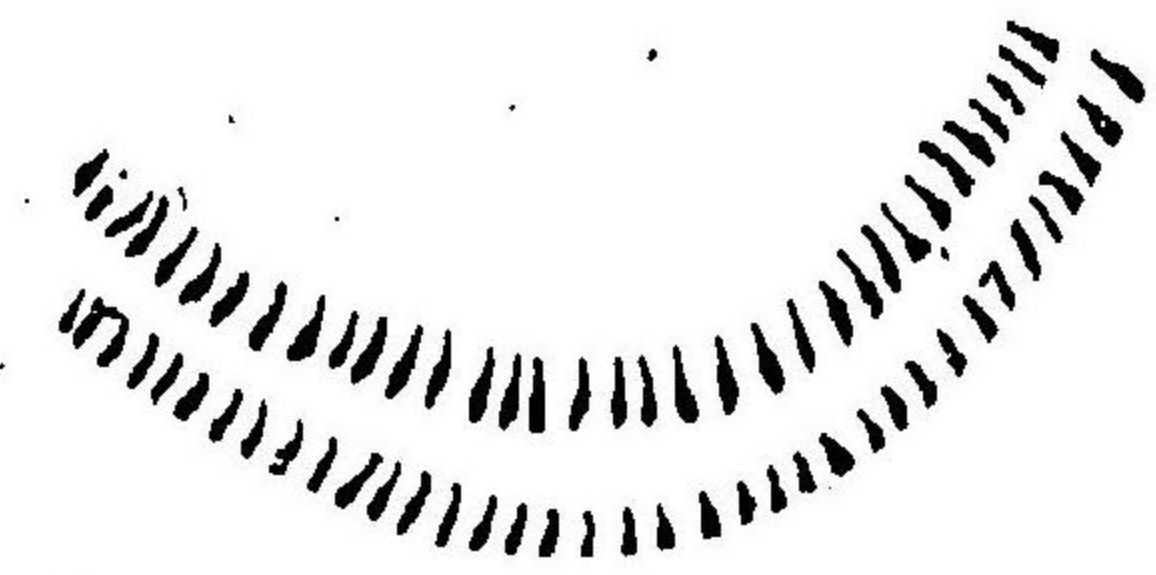
年月日



第貳號式

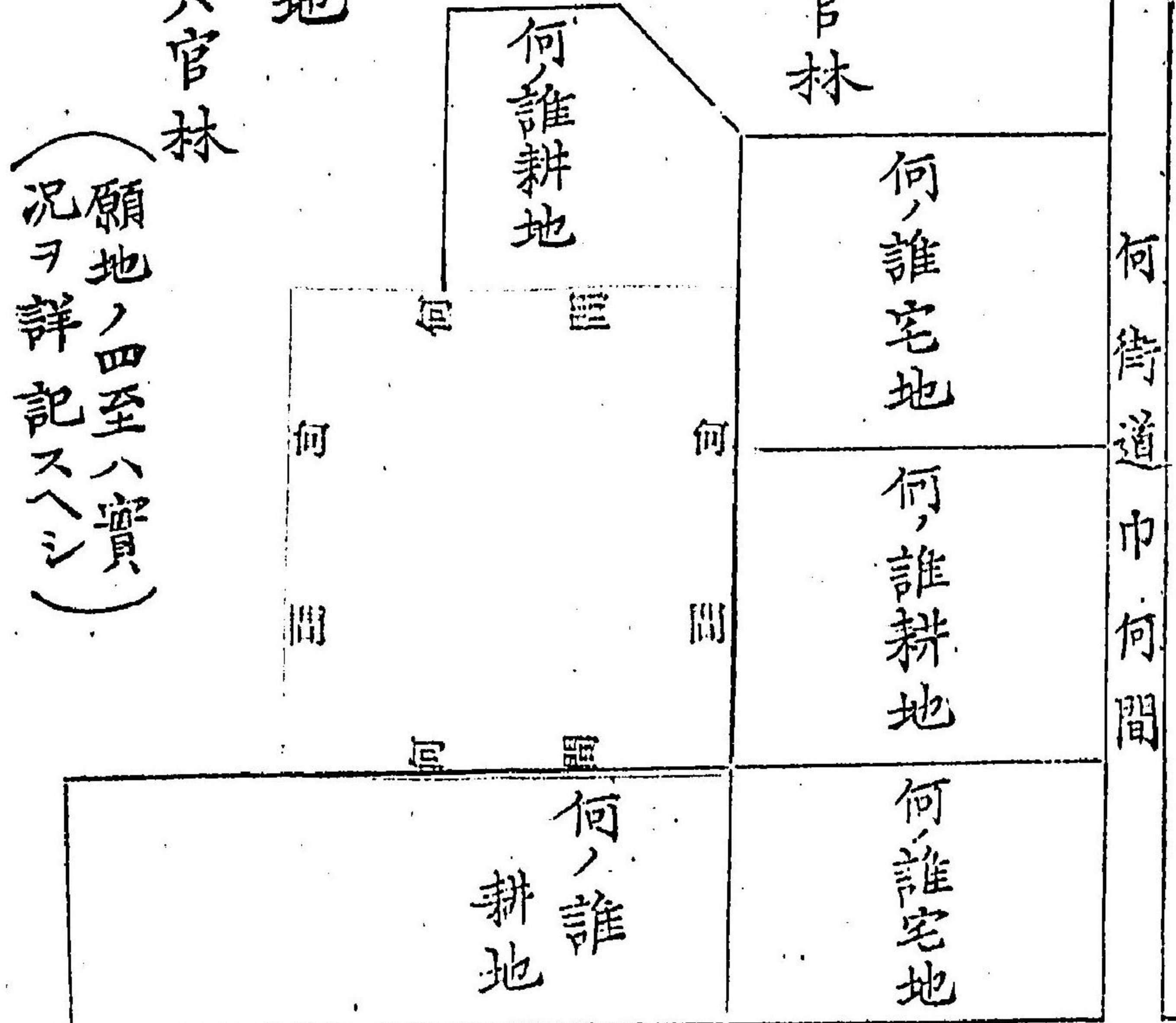


官有地  
草原又ハ官林



官林

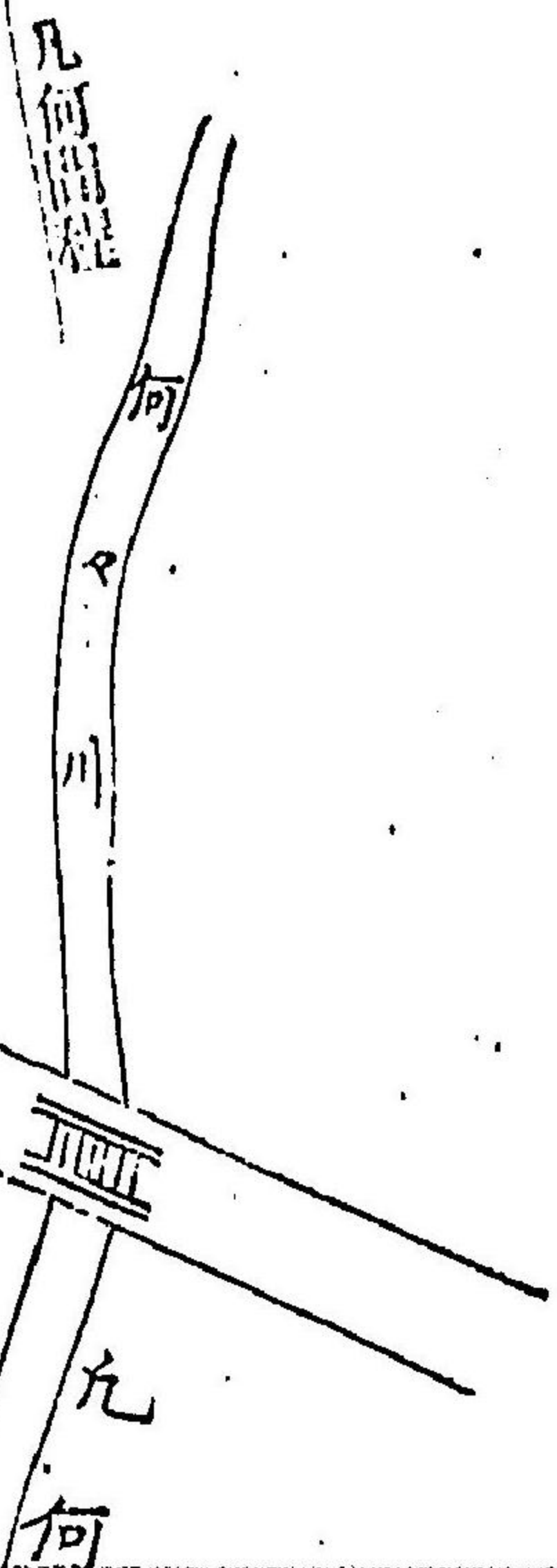
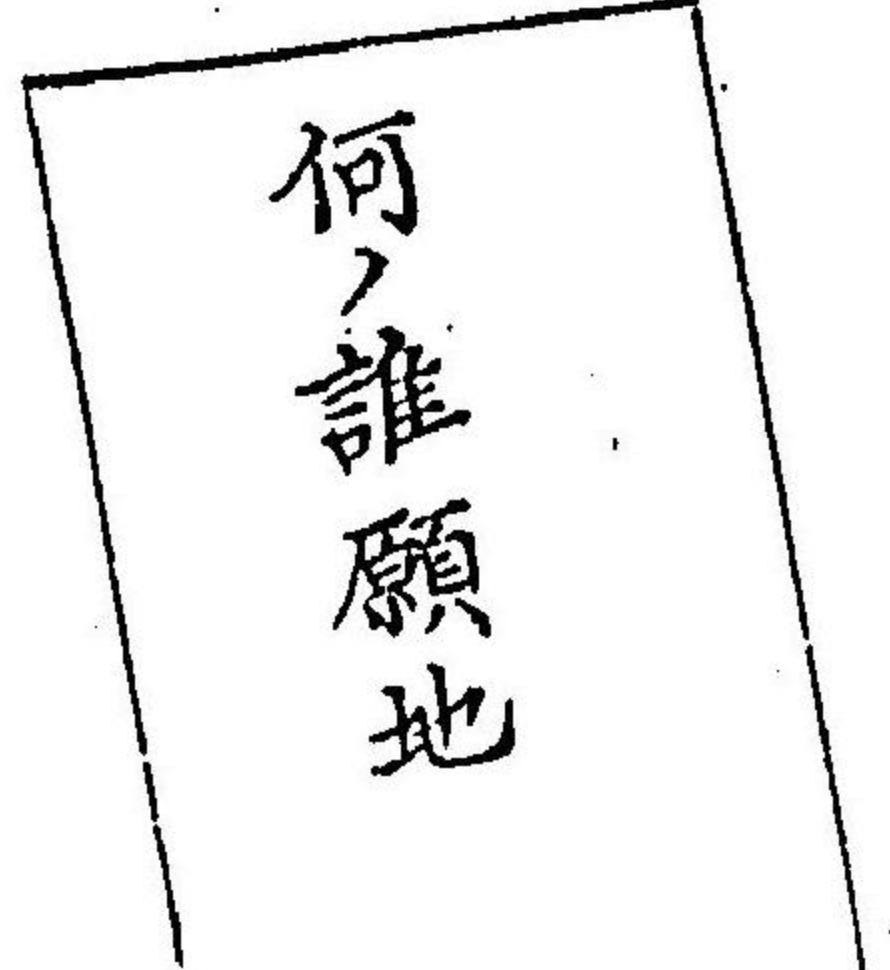
(願地ノ四至ハ實  
況ヲ詳記スヘシ)



何誰耕地

何間  
何間  
何間

凡何間程



何誰海巾何間

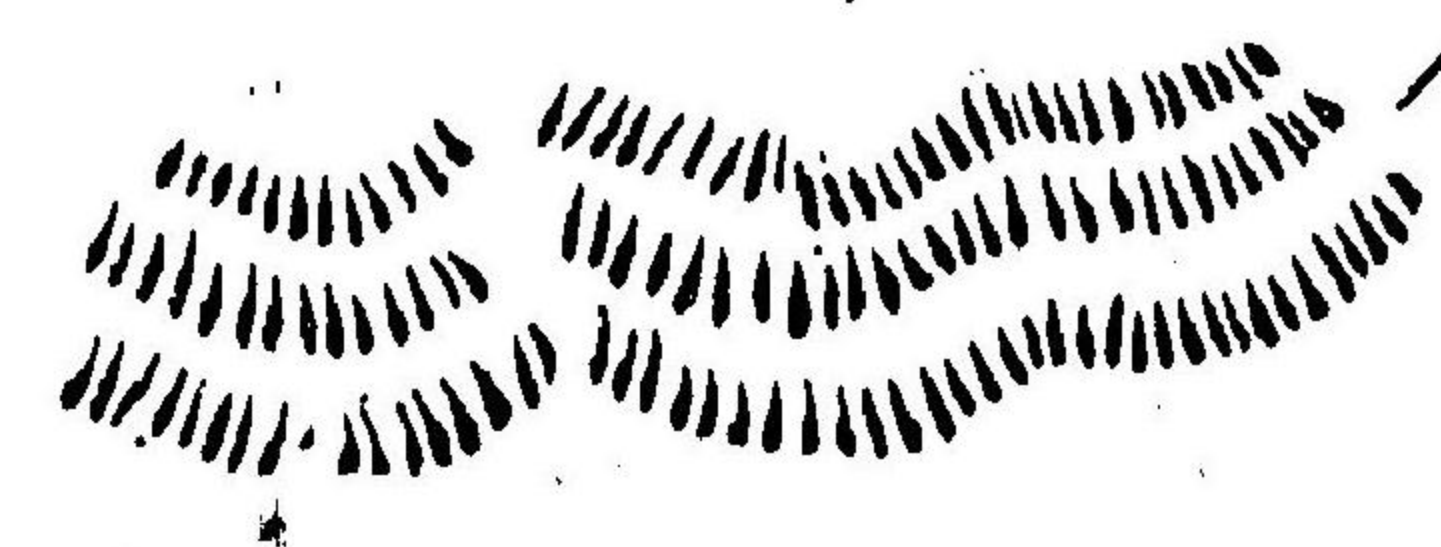
海岸浪打  
何

何

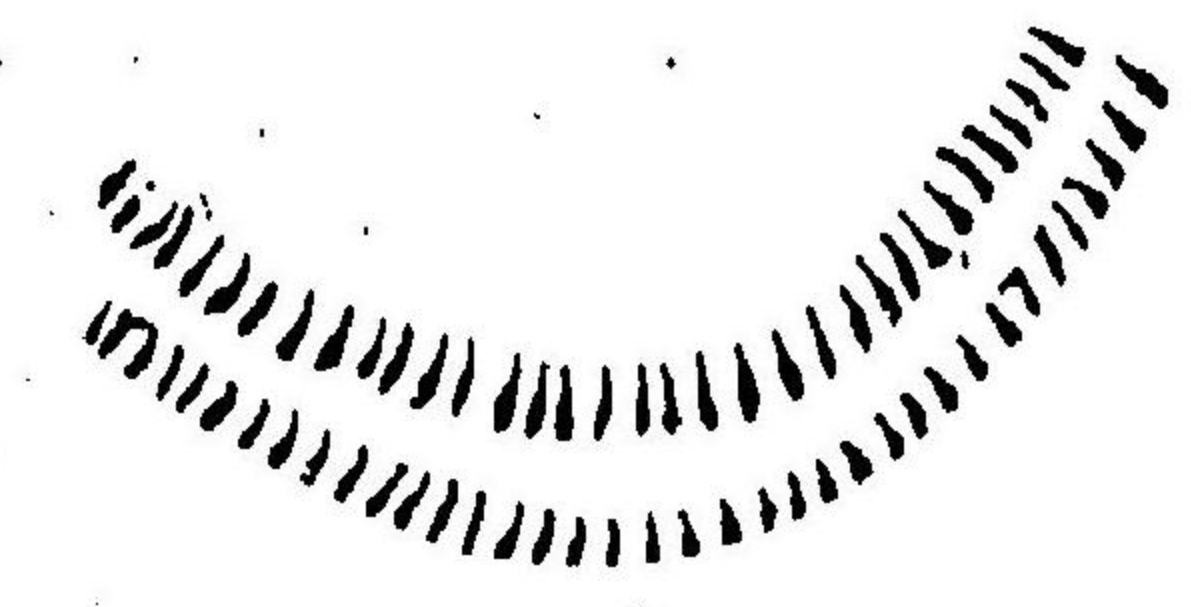
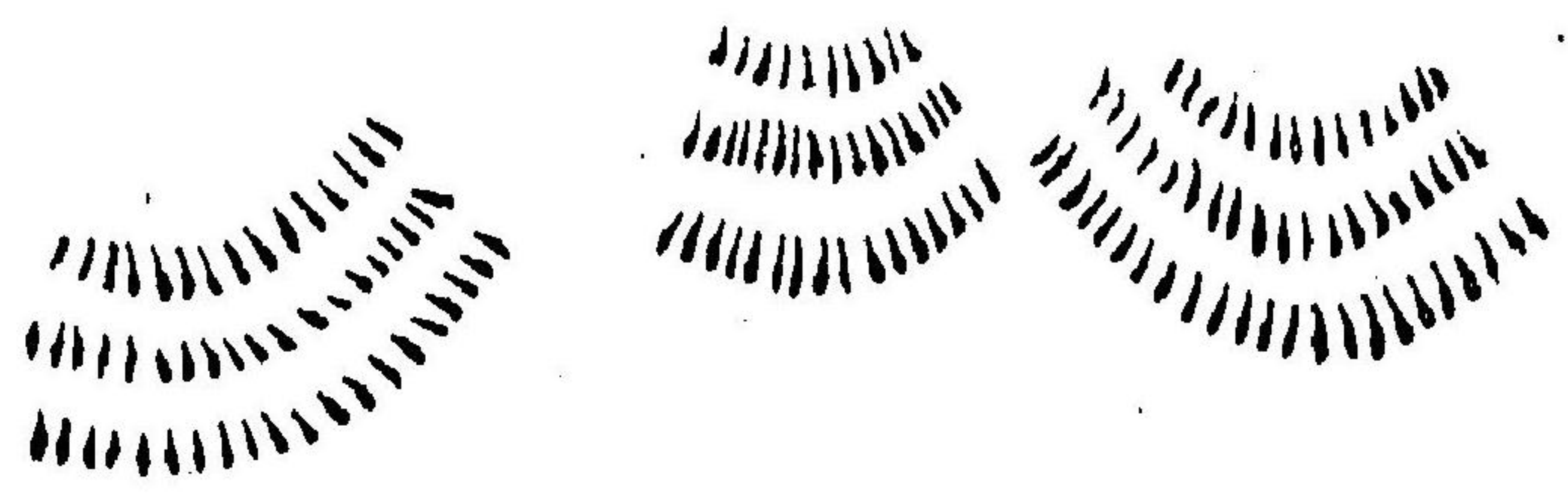


第貳號式

何山



何山



官有地

草原又ハ官林

(願地ノ四至ハ實況ヲ詳記スヘシ)

官林

何誰耕地

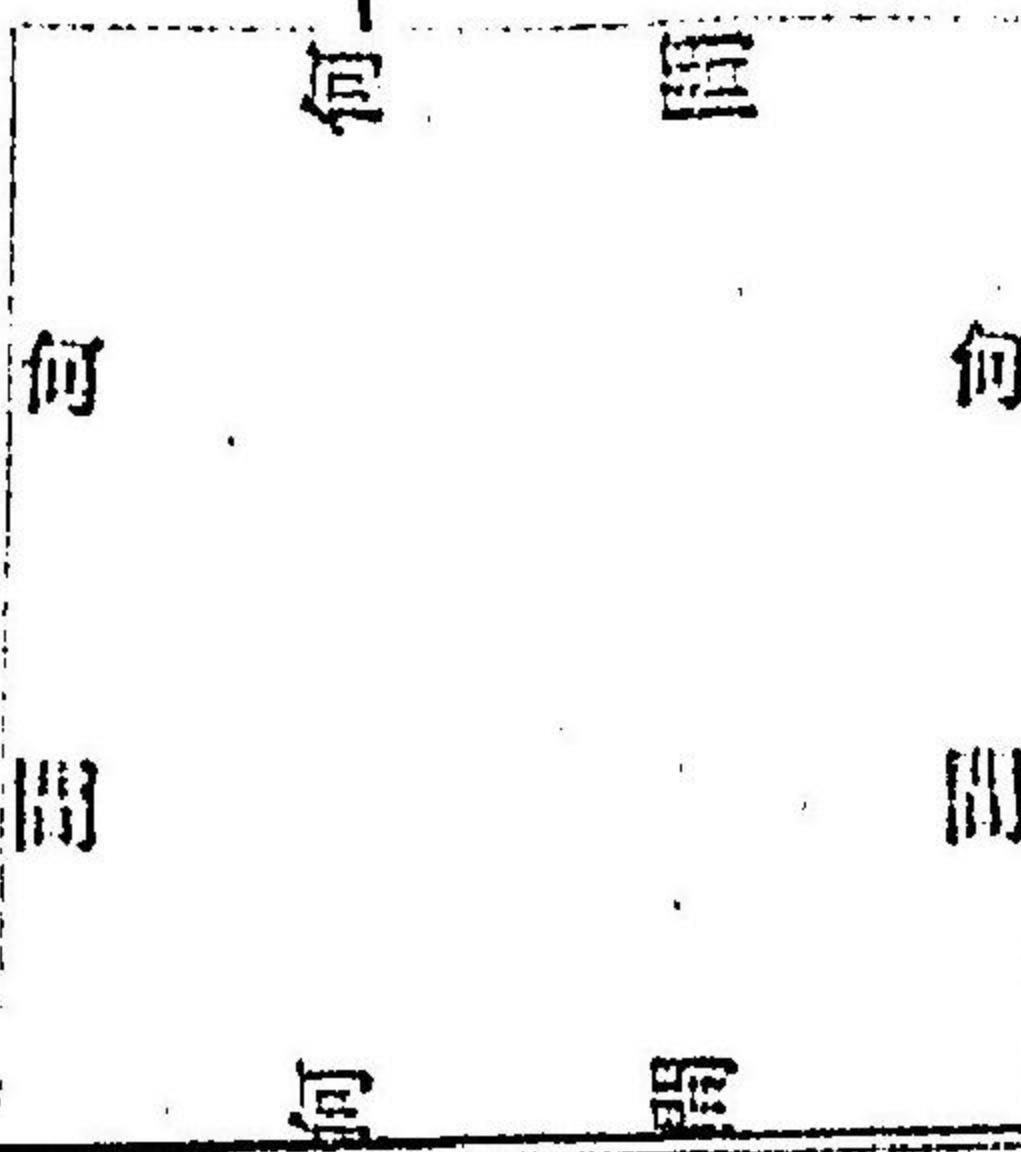
何誰宅地

何誰耕地

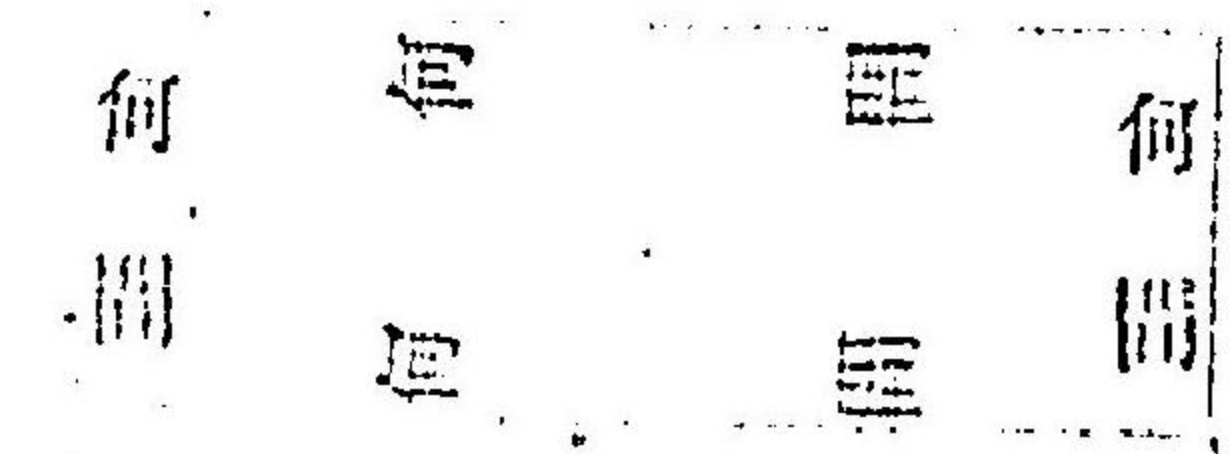
何誰宅地

何誰耕地

何街道巾何間



何街道巾何間



凡何間程

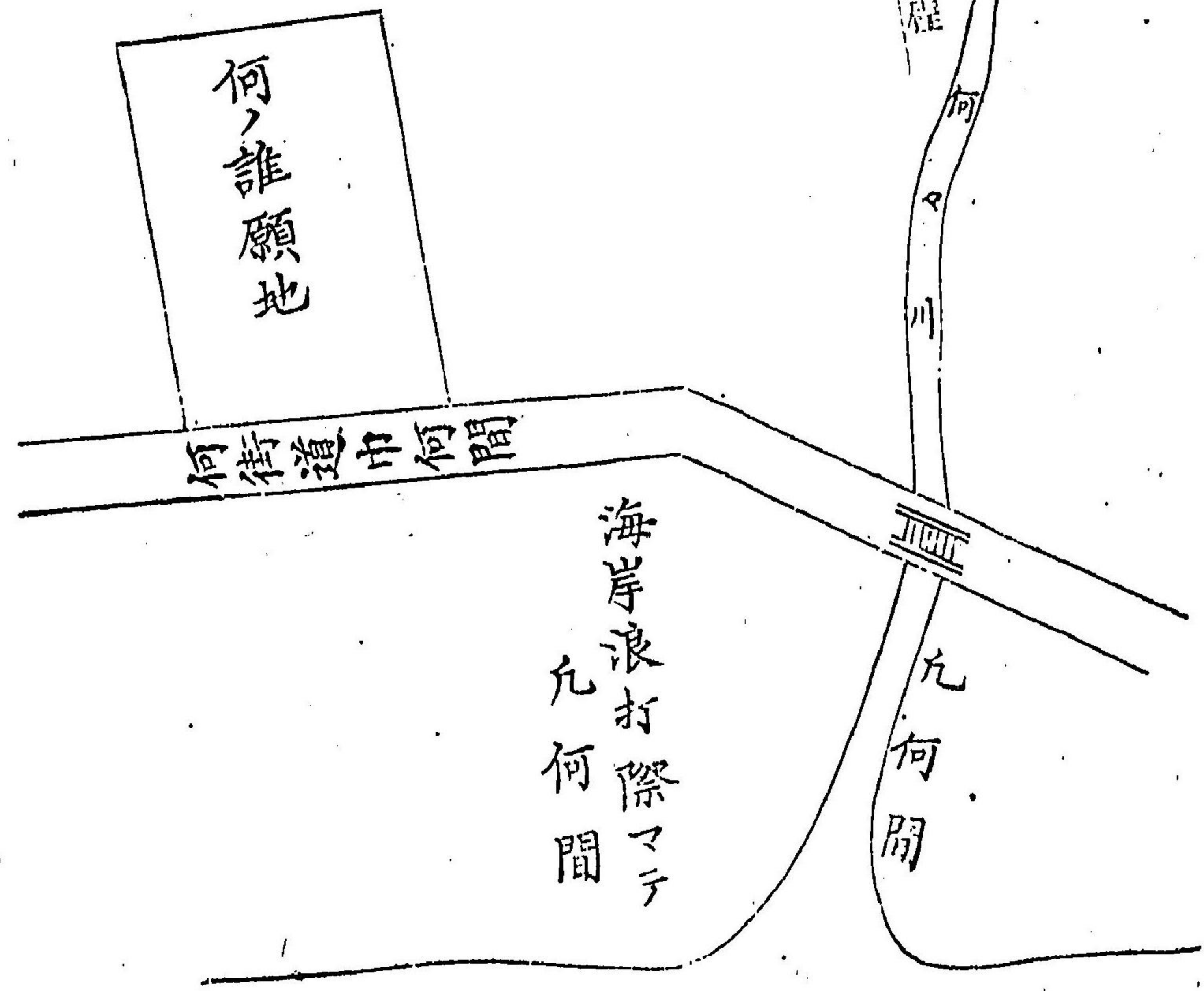
凡何間程

何誰願地

何街道巾何間

海岸浪打際マテ  
凡何間

凡何間





第三號書式

拜借地繼續願

國郡區町村字番地

一宅地又ハ

何坪

但明治何年ヨリ全何年迄何ケ年期

右ハ家屋營構又ハ使用ノ爲メ明治何年ヨリ全何年迄何ケ年期ヲ以テ

拜借仕本年何月滿期ノ處尙前記ノ通拜借仕度此段奉願候也

府縣北海道國郡區町村番地

華士族平民

(當時國郡區町村番地寄留)

年月日

願人

氏

名

印



全上

保證人氏名印

郡區長某殿

前書之通願出ニ付進達候也

郡區町村

年月日

戸長 某 印

第四號書式

拜借地返上願

國郡區町村字番地

一宅地又ハ何々 何坪

但明治何年何月何日御貸下

右ハ家屋營構又ハ何々使用ノ爲拜借仕居候處營業都合ニヨリ本年何月又ハ何月限リ返上仕度此段奉願候也

府縣北海道國郡區町村番地  
華士族平民

(當時國郡區町村番地寄留)

年月日 願人 氏名 印

郡區長某殿

前書之通願出ニ付進達候也

郡區町村

年月日 戸長 某 印

第五號書式



拜借地返上御届

國郡區町村字番地

一宅地又ハ何坪

但明治何年何月ヨリ全何年何月迄何ヶ年間

右ハ家屋營構又ハ使用ノ爲拜借仕居候處本年何月又ハ何月何日満期ニ付

返上仕候此段御届仕候也

府縣北海道國郡區町村番地

華士族平民

(當時國郡區町村番地寄留)

年月日 願人 氏 名 印

郡區長某殿

前書之通届出ニ付進達候也

郡區町村

年月日 戸長 某 印

(令第六拾貳號) 六月一日

明治十九年北海道廳甲第八號布達北海道土地拂下規則施行手續中左ノ書式ヲ追加ス

書式第七號(土地拂下願出ルトキ)

土地拂下願

國郡町村番地字別紙圖面ノケ所

一耕地又ハ何坪 大約縦何間 横何間

右ハ北海道土地拂下規則ヲ遵守シ明治何年何月何日原野又ハ御貸下



又ハ何某ノ處今回全地墾成又ハ事候ニ付地代金上納可致候間實地御  
ヨリ讓受ノ處今回全地墾成業成功候ニ付地代金上納可致候間實地御  
點檢ノ上御拂下相成度此段奉願候也

府縣北海道國郡區町村番地

華士族平民

(當時國郡區町村番地寄留)

年月日

氏

名

印

北海道廳長官某殿

前書之通願出候ニ付調査之上進達候也

郡區町村

年月日

戶長

某

印

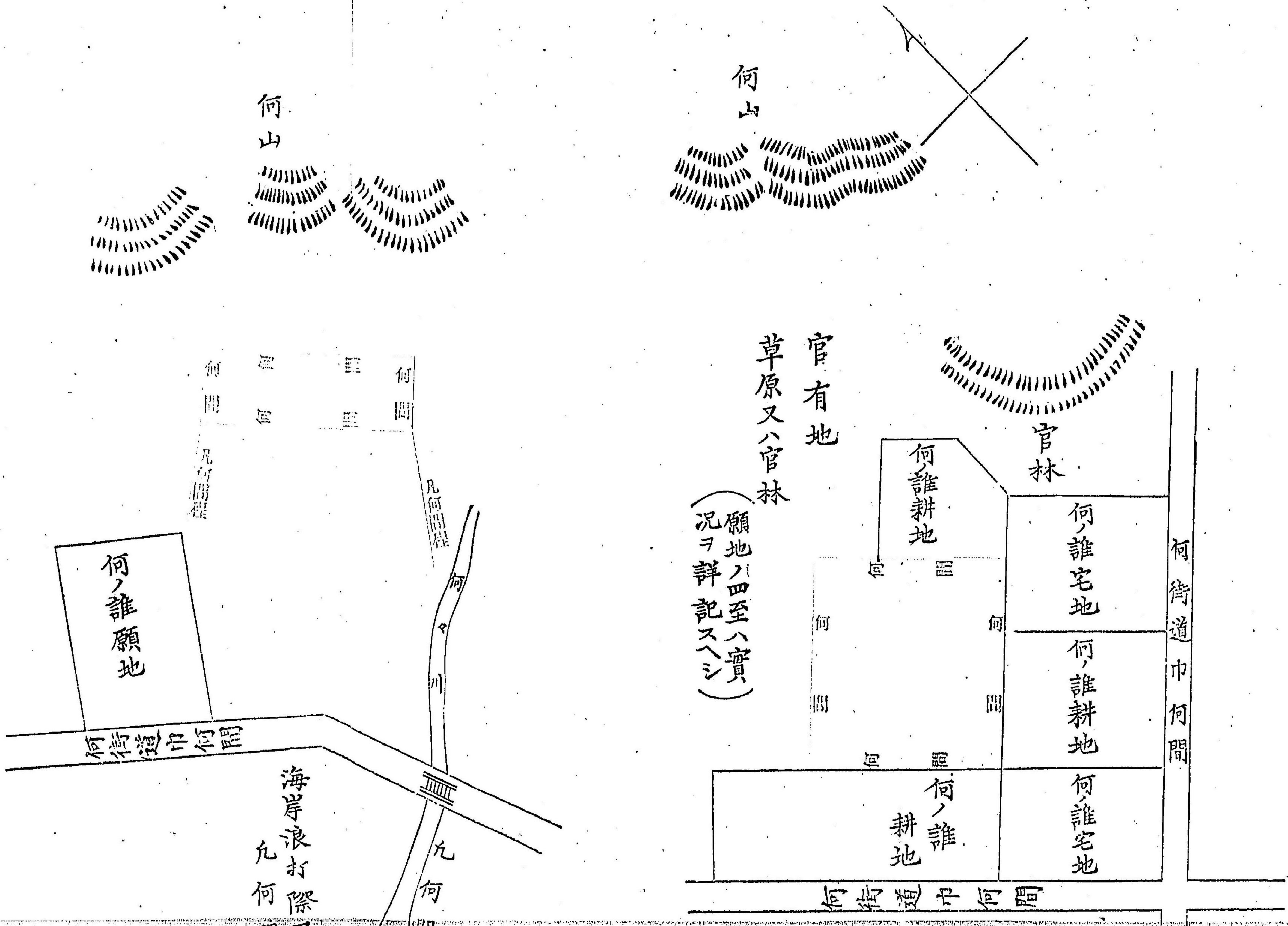
郡區長

某

印

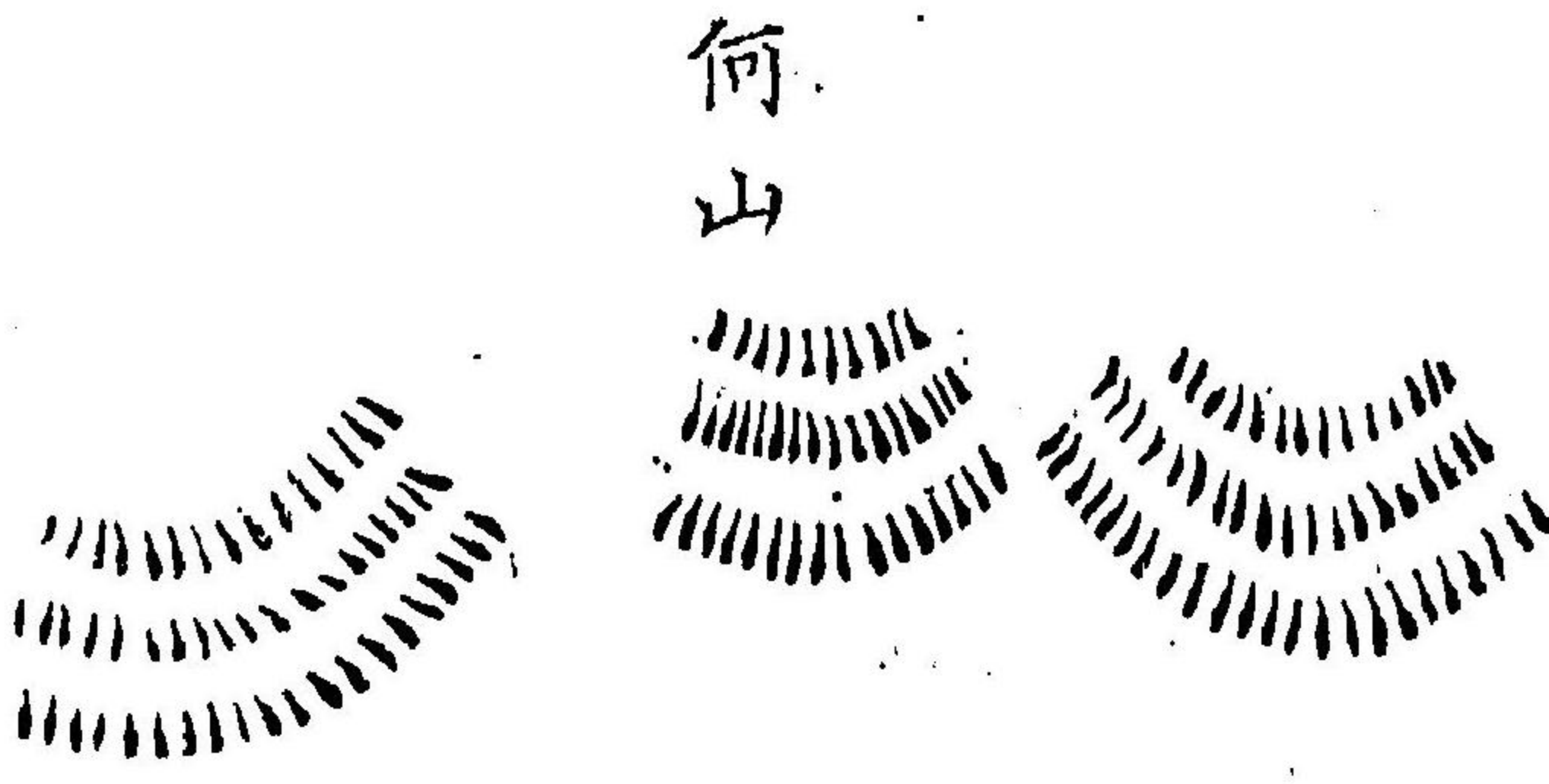
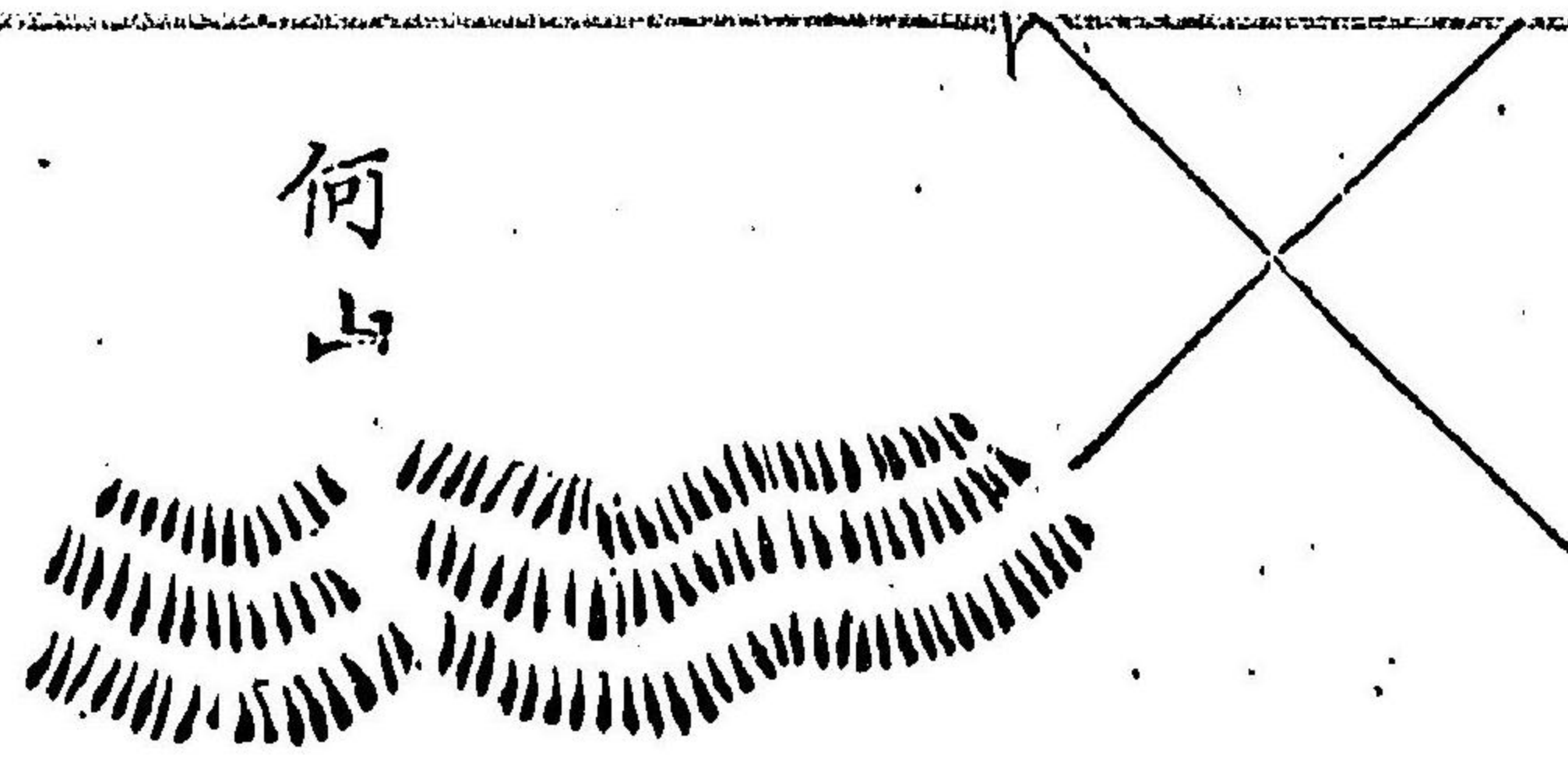


第七號式附屬圖



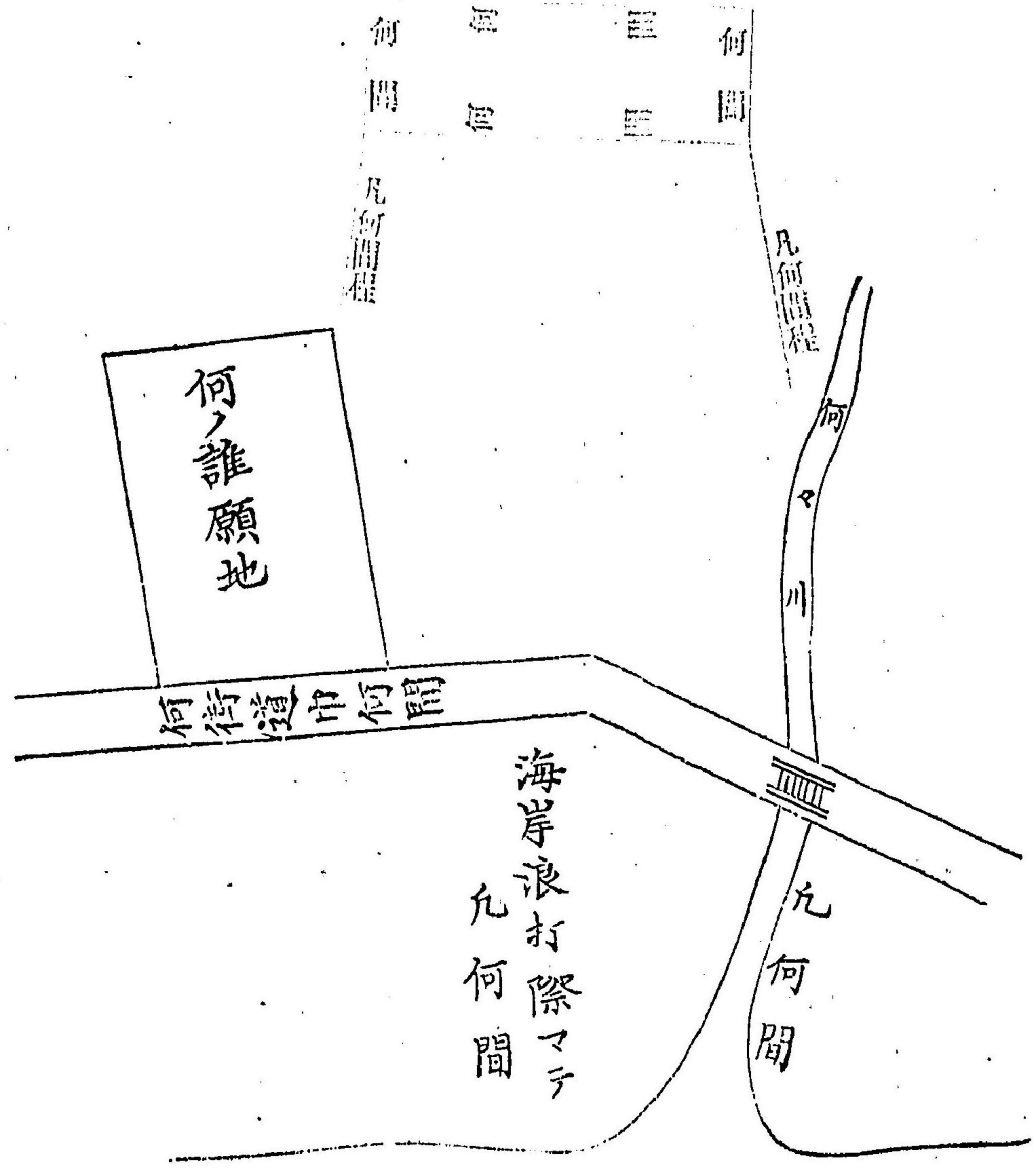
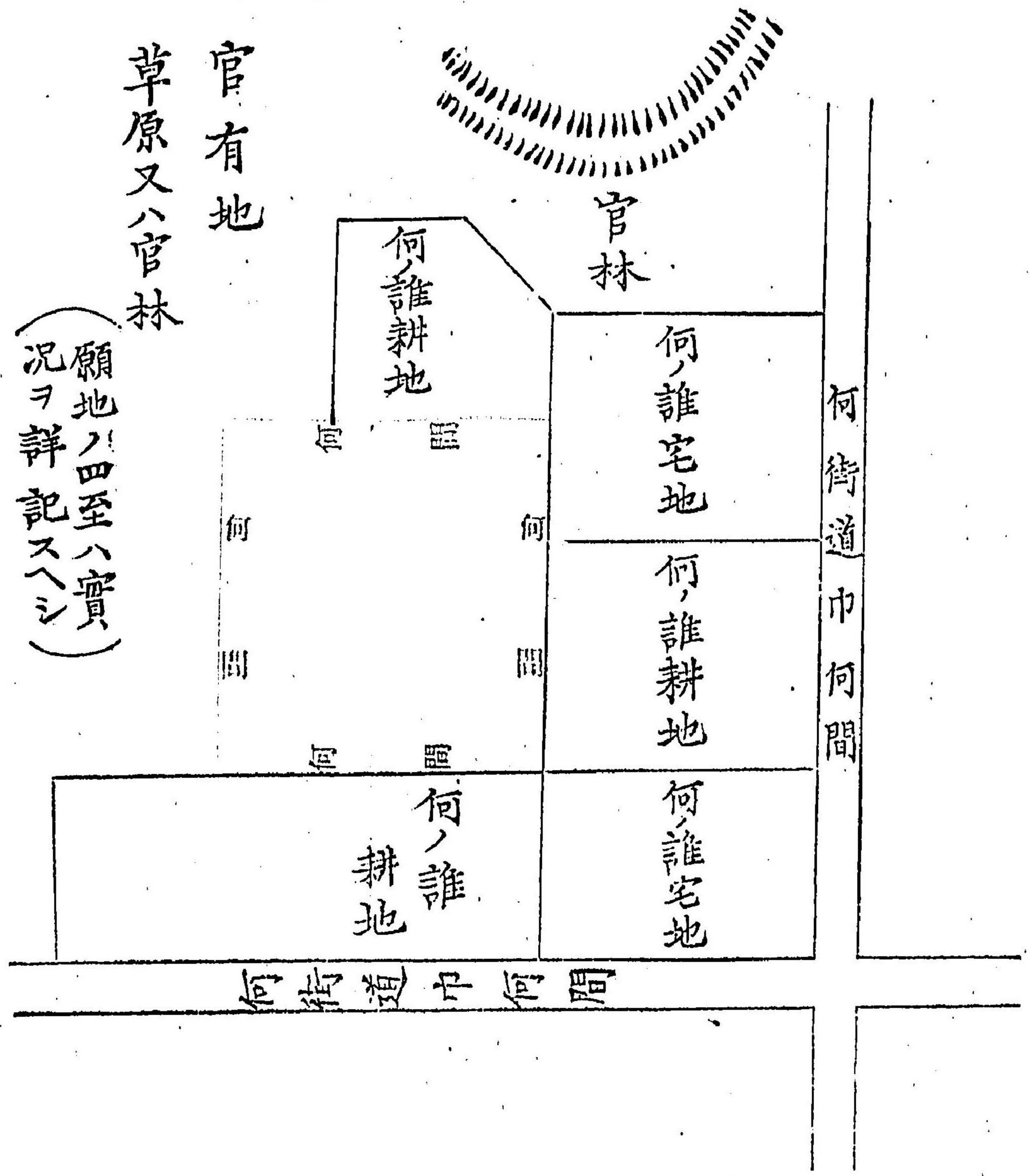


第七號式附屬圖



官有地  
草原又ハ官林

(願地ハ四至ハ實況ヲ詳記スヘシ)



海岸浪打際マテ  
凡何間



(令第六拾三號) 六月二日

町村立病院職員俸給左表ノ通相定ノ其支給法ハ明治十九年十月當廳丙第拾五號達ニ準據ス

職	員	院	長	醫	員	藥	劑	員
月	俸	百三十圓	乃至	五十圓	乃至	六十圓	乃至	十圓

(令第六拾四號) 六月八日

明治十九年四月丙第四號病院職制第一條當直醫ヲ醫員ト改ム

(令第六拾五號) 六月十日

色丹郡斜古丹村ニ戸長役場ヲ置キ全村ヲ管セシム

(令第六拾六號) 六月十日

本年五月北海道廳令第五拾三號中浦河警察署幌泉分署所轄樣似郡ノ



内幌滿警内ノ兩村ヲ自今様似分署ノ所轄トス

(令第六拾七號) 六月十三日

明治十九年八月農商務省令第九號蚕種検査規則第四條第六條ニ據リ  
蚕種検査所名稱位置及夏蚕種秋蚕種検査期日ヲ定ムルヲ左ノ如シ  
第一條 蚕種検査所名稱位置及検査區域ハ左ノ如シ

名稱	位置	検査區域
札幌蚕種検査所	石狩國札幌區北一條	石狩國、天鹽國、北見國、根室國、千島國、釧路國、十勝國、日高國、 後志國ノ内小樽、高嶋、忍路、余市、古平、美國、積丹、岩内、古宇、九郡、 膽振國ノ内室蘭、虻田、有珠、幌別、白老、勇拂、千歲、七郡
七重蚕種検査所	渡嶋國龜郡田七飯村	渡嶋國 後志國ノ内久遠、奥尻、太櫓、 瀬棚、壽都、嶋牧、磯谷、歌棄、 八郡、 膽振國ノ内山越郡
第二條	石狩國札幌區及ヒ札幌郡ノ製造ニ係ル蚕種ハ札幌蚕種検査所ニ於テ渡嶋國函館區及ヒ龜田郡ノ製造ニ係ル蚕種ハ七重蚕種検査所ニ於テ検査シ其他ノ蚕種ハ巡回検査スルモノトス但検査所遠隔シ地ニ在テ少數ノ蚕種ヲ製造スルモノハ便宜最寄検査所へ取寄検査スルヲアルヘシ	
第三條	初度夏蚕種ハ毎年七月一日ヨリ再度夏蚕種秋蚕種ハ毎年十月一日ヨリ検査スヘシ	
(令第六拾八號) 六月十三日		



墓地埋葬取締細則左之通定ム

但明治十七年札幌縣甲第八拾三號明治十七年函館縣甲第三拾七號  
明治十八年根室縣甲第二拾二號布達ハ廢止ス

墓地及埋葬取締細則

第一條 墓地及火葬場ハ人民ノ請願又ハ郡區長ノ撰定ニ依リ之ヲ許  
可スヘシ

第二條 墓地及火葬場新設ノ請願書ハ所轄警察署ヲ經由スヘシ

第三條 墓地ヲ新設スルニハ道路河川及鉄道線路ニ沿ハズ現在人家  
ヲ距ル五丁以上土地高燥飲用水ニ障ナク且ツ將來道路河川ノ開通  
及土地開墾人民移住ノ支障トナラサル地ヲ撰ム可シ

第四條 火葬場ハ民家又ハ人民輻湊ノ地ヲ距ル十丁以上ニシテ將來

道路河川ノ開通及ヒ土地開墾人民移住ノ支障トナラサル地ヲ撰ミ  
可成火爐煙筒ヲ備ヘ臭煙ヲ防クノ裝置ヲ爲ス可シ

第五條 墓地ハ種族宗旨ヲ分タス何人ニテモ埋葬スルコトヲ得但死  
刑ノ遺骸ハ別ニ墓地ノ一隅ヲ劃シテ埋葬ス可シ

第六條 墓地火葬場ニハ管理者一名若クハ數名ヲ置ク

第七條 郡區長ハ墓地又ハ火葬場最近ノ寺院住職及僧侶若クハ其他  
相當ノモノヲシテ便宜墓地火葬場ノ管理者タラシム可シ但從來定  
マリタル管理者アルモノハ此限ニアラス

第八條 人民ノ請願ニ依リ墓地火葬場新設ノ許可アリタルトキ八十  
日以内ニ其管理者ヲ取極メ郡區役所又ハ戸長役場ニ届出可シ  
管理者變換アル時ハ其都度郡區役所又ハ戸長役場ニ届出可シ



第九條 墓地ハ周圍ニ樹木ヲ栽ユ可シ墓地内ニハ大樹又ハ塀牆ヲ存ス可カラズ但現存ノモノハ此限ニアラス

第十條 墓地管理者ハ常ニ墓所ヲ監護シ清潔ニ掃除ヲ爲シ勉メテ墓碑墓標等ノ頽敗ヲ防クヘシ

第十一條 火葬場管理者ハ火爐煙筒ノ掃除ニ注意スル等火化ノ障害ヲ防クヘシ

第十二條 墳穴ノ深サハ六尺以上タルタル可シ若シ土地ニ依リ六尺ニ至リ難キモノ及ヒ火葬ノ遺骨ハ格別ナリトス

第十三條 火葬ハ可成日没後之ヲ行フ可シ

第十四條 死屍ヲ埋葬又ハ火葬セントスル者ハ主治醫ノ死亡届ヲ添ヘ郡區長又ハ戸長ノ認許証ヲ乞フヘシ

醫師ノ治療ヲ受ル能ハスシテ死亡シタルモノヲ埋葬又ハ火葬セントスルトキハ醫師ノ檢案ヲ差出シ郡區長又ハ戸長ノ認許証ヲ乞フ可シ若シ山川懸隔醫師ノ檢案ヲ得難キトキハ隣佑二名以上ノ保証書ヲ以テ認許ヲ乞フコトヲ得但其認許ヲ乞フ爲メ數日ヲ要スル場所ニ於テハ保証書ヲ以テ埋葬スルヲ得可シト雖モ速ニ其死狀ヲ郡區長又ハ戸長ニ届出可シ

妊娠四月以上ノ死胎ニ係ルトキハ醫師若クハ産婆ノ死産証ヲ以テ郡區長又ハ戸長ノ認許証ヲ乞フヘシ

變死ニ係ルトキハ立會醫師ノ檢案書ニ檢視官ノ認印ヲ乞ヒ差出ス可シ

未已決囚ノ死屍ヲ埋葬又ハ火葬セントスルトキハ獄醫ノ死亡届寫



ニ司獄官ノ檢印ヲ乞ヒ差出ス可シ

第十五條 郡區長又ハ戸長ハ前條ノ届書証書ヲ領收シタルニ非サレハ埋葬又ハ火葬ノ認許書ヲ與フ可カラス

第十六條 管理者ハ葬主ヨリ領收シタル認許証若クハ保證書ヲ取纏メ三月毎ニ之ヲ所轄警察署ニ差出ス可シ

第十七條 改葬ヲ爲サントスルモノハ所轄警察署ノ許可ヲ乞フ可シ但虎列刺發疹窒扶私痘瘡ノ死屍ニシテ火化セサルモノハ改葬ヲ許サス

第十八條 死者ノ姓名族籍位勳爵法號及生死ノ年月日建立者ノ姓名ヲ記スルニ止リ誌銘傳贊等ノ碑文ヲ刻セサル墓標ノ建立ハ所轄警察署ノ許可ヲ受クルニ及ハス

第十九條 管理者ハ墓地ノ繪圖及墓籍ヲ調製シ置ク可シ

第二十條 埋葬又ハ火葬ヲ行フトキ警察官及巡查臨時監視スルコトアル可シ

附則

從來許可シタル墓地火葬場ニシテ本則第三條乃至第五條ニ抵觸スト雖モ此規則ヲ適要セス但火葬場ハ本則ニ從ヒ漸次改良ス可シ

(令第六拾九號) 六月十七日

徴兵兵籍ニ關スル事務ハ函館出張所ニ於テ處理ス

(令第七拾號) 六月二十日

醫師死亡届差出方手續左ノ通定ム

但明治十五年函館縣甲第十八號明治十六年同縣甲第十一號明治十



五年根室縣甲第三十七號明治十六年同縣甲第四十二號布達ハ廢ス

醫師死亡届差出方手續

第一條 醫師施治ノ患者死亡シタルキハ病名經過死因等ヲ詳記シタル届書(第一號式)ヲ作り死者ノ家人又ハ其保管者ニ付與スヘシ  
若シ醫師二人以上關涉シタルキハ主タル者届書ヲ作り互ニ意見ヲ異ニスル場合ニ於テハ各自ニ其届書ヲ作ルヘシ

第二條 醫師施治ノ患者ニアラサル死亡者又ハ妊娠四ヶ月以上ニテ分娩シタル死胎ヲ檢案シタルキハ死亡ノ因由又ハ分娩ノ正否等ヲ探究推定シ異狀ナキ者ハ其届書(第二第三號式)ヲ作り之ヲ其家人又ハ保管者ニ付與スヘシ

第三條 凡ソ死屍死胎ノ檢案上死因其他ニ就キ疑アルキハ速ニ警察

官ニ申告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ警察官ノ指揮アルニ非ラサレハ檢案書ヲ付與スヘカラス

第四條 傳染病ニ罹リタル死者ニ付テノ届出方ハ別ニ之レヲ定ム  
第一號式

死亡書 (用紙半紙以下之レニ同シ)

國郡區町番地居住(寄留ノ者ハ其本籍ノ住同居(寄留ノ者ハ其本籍ノ住)所番地ヲモ記入スヘシ)  
身分何某父母兄弟長二男妻或ハ何々

職業(戶主家族ヲ論ヒス本人ノ現業ヲ記ス)

姓 名

生年月

第何類  
一病名(病類細目要領ニ依テ其利目ノ病名ヲ掲グ)

一經過



一死因

一月日前後時死亡

右私或ハ施治ノ患者ニ候處頭書ノ通死去相違無之候間此段御届致候也

國郡區町番地居住 寄留

開業醫或ハ何々病院醫

年月日

姓名印

戸長宛戸長ヲ置カサル地ニ於テハ郡區長宛

第二號式

死體檢案書

國郡區町番地居住寄留ノ者ハ其本籍ノ住同居所番地ヲモ記入スヘシ

身分何某父母兄弟長二男妻或ハ何々

職業記載方前

第何類 一病名及事故事故トハ變死ニ係ル溺死經死凍死壓死自殺等ノ類又ハ死骸棄兒ノ如キヲ云フ

姓名

一月日前後時死亡

生年月

備考

死ニ至ルノ所以ヲ列記スヘシ若シ判然セサルハ死後經過ノ日數(推測)其他ノ事由ヲ知り得ヘキ丈ク及ヒ死狀等ヲ掲ク

一何々

一何々

右死體檢案候處頭書ノ通致死相違無之候間此段御届致候也

國郡區町番地居住 寄留

開業醫或ハ何々病院醫

年月日

姓名印



戶長宛(戶長ヲ置カサル地ニ於テハ郡區長宛)

第三號式

死産書

國郡區町村番地居住(寄留ノ者ハ其本籍ノ住同居ノ番地ヲモ記入スヘシ)  
身分何某妻(妻ニアラサルモノハ何某長ニ女或ハ何々)

姓 名

一 死産原因

生年月

一月日前時男女胎死産(ニタ子以上ハ男幾胎女幾胎ト記ス)

右私或ハ當院取扱ノ妊婦ニ付死胎檢案候處頭書ノ通死産相違無之候間此段御届致候也

國郡區町村番地(居住寄留)

開業醫或ハ何々病院醫又ハ産婆

年 月 日

姓 名 印

戶長宛(戶長ヲ置カサル地ニ於テハ郡區長宛)

(令第七拾壹號) 六月二十一日

明治二十年三月三北海道廳令第九號地方約束郵便手續第一節中炭礦鑛道事務所ヲ北海道鑛道事務所ト改メ第二節中船改所ノ三字ヲ削除シ戶長及浦役人ノ一項ヲ加フ

令第七拾貳號) 六月二十二日

明治十九年五月五當廳乙第拾貳號布達同年十一月十一函館支廳第六拾號告示同年十二月十二根室支廳甲三拾壹號布達ヲ廢ス

(令第七拾三號) 六月二十二日

勇拂外五郡役所管轄ノ内沙流新冠靜内三郡ヲ浦河外十郡役所ノ管轄



ニ同郡役所管轄ノ内廣尾當縁十勝中川河西河東上川七郡ヲ釧路外四郡役所ノ管轄ニ移ス其郡役所名稱ハ左ノ如シ  
勇拂白老千歳郡役所

浦河沙流新冠靜内三石様似幌泉郡役所

釧路廣尾當縁十勝中川河西河東上川白糠阿寒足寄川上郡役所

(令第七拾四號) 六月二十四日

鑛泉所在地ノ近傍ニ於テ井泉等ヲ掘鑿セントスル者ハ自今其所管郡區役所ノ認可ヲ請フヘシ

訓令

(訓令第壹號) 一月七日

北海道廳理事官一木彦七

函館福山江差三市街徴兵ニ關スル事務委任候條成規ニ照シ處分スヘシ

(訓令第貳號) 一月七日

函館區役所

松前郡役所

檜山郡役所

函館福山江差三市街徴兵ニ關スル事務處分方函館出張所詰理事官一木彦七へ委任候條此旨心得ヘシ



(訓令第三號)

一月十五日

部	典	郡
長	獄	區
		長

警察官監獄官郡區書記人員左ノ通假定ス

但道ヲ每等定員ヲ立ツル迄ノ間當分俸給額警部警部補ハ一人月俸  
 貳十四圓以內空知樺戸釧路監獄署詰書記看守長ハ同三十圓以內其  
 他ノ監獄署詰書記看守長ハ同二十五圓以內監獄醫ハ同五十圓以內  
 郡區書記ハ同二十圓以內ヲ以テ程度トス

警察官假定員

札幌警察署

警部警部補

五人

函館警察署

同

六人

福山警察署

同

二人

江差警察署

同

二人

森警察署

同

一人

久遠警察署

同

一人



壽都警察署

警部警部補

二人

岩内警察署

同

二人

古平警察署

同

一人

小樽警察署

同

二人

石狩警察署

同

一人

増毛警察署

同

一人

室蘭警察署

同

二人

勇拂警察署

同

一人

浦河警察署

同

一人

釧路警察署

同

一人

厚岸警察署

同

一人



根室警察署

警部警部補

三人

網走警察署

同

一人

宗谷警察署

同

一人

紗那警察署

同

一人

監獄官假定員

空知監獄署

書記

七人

看守長

九人

監獄醫

一人

樺戸監獄署

書記

五人

看守長

八人

監獄醫

一人

釧路監獄署

書記

五人

看守長

五人

監獄醫

一人

札幌監獄署



書記	看守長	監獄醫	函館監獄署	書記	看守長	監獄醫	根室監獄署	書記	看守長	監獄醫
二人	四人	一人	二人	二人	四人	一人	二人	二人	二人	一人

郡區書記假定員

札幌區札幌外五郡	函館區	龜田外一郡	松前郡	檜山外一郡
書記	書記	書記	書記	書記
九人	十二人	七人	七人	七人



茅部外一郡

書記

五人

久遠外三郡

書記

六人

壽都外三郡

書記

七人

岩内外一郡

書記

六人

古平外二郡

書記

六人

小樽外三郡

書記

六人

書記

九人

石狩外二郡

書記

六人

增毛外五郡宗谷外三郡

書記

七人

室蘭外三郡

書記

六人

勇拂外五郡

書記

六人

浦河外十郡

書記

八人



釧路外四郡

書記

六人

厚岸郡

書記

六人

根室外九郡

書記

十人

網走外三郡

書記

四人

紗那外三郡

書記

四人

(訓令第四號ノ一) 一月二十五日

部長

典獄

郡區長

本年一月訓令第三號警察官假定員中函館警察署警部警部補六人ヲ五人

ト改メ其次ニ左ノ一項ヲ加フ

龜田警察署

警部警部補

一人

(訓令第四號ノ二) 二月一日

茅部、久遠、壽都、檜山、  
松前、龜田、函館 郡區長

内務省令第拾九號第六條ニ依リ寄留ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ公使館  
領事官又ハ居留地外國人所有ノ家屋ニ寄留シタル者ハ本人(幼者ハ後見人又ハ



族親ノ届出ノミヲ以テ其半續ヲ了シタルモノトシ其第七條寄留地ヲ去  
 リ本籍地へ復歸又ハ更ニ他へ寄留シタルノ届書ヲ本籍戸長ニ於テ受  
 領シタル時ハ其旨該戸長ヨリ前寄留地ノ戸長へ通報候様取計ヲヘシ  
 右訓令ス

(訓令第五號) 二月十七日

根室、厚岸、釧路、郡長  
 網走、紗那

(前全文)

(訓令第六號) 三月二日

警察署

巡查ハ天然痘若クハ種痘ヲ經タル者ニアラサレハ採用スヘカラス  
 右訓令ス

(訓令第七號) 三月五日

監獄署  
釧路空知釧路ヲ除ク

左之各項當分典獄へ委任候條處分濟届出ヘシ  
 一 看守以下任免ノ事

但懲罰ハ此限ニアラス

- 一 看守ニ看守長代理ヲ命スル事
- 一 看守以下詰所轉換ヲ命スル事
- 一 署員管内派出ヲ命スル事

右訓令ス

(訓令第八號) 三月十二日

警察署



銃砲取扱手續左ノ通假定ス

銃砲取扱手續

第一項 警察署ニ於テ甲乙二種ノ銃砲明細簿ヲ製シ甲ハ軍用銃乙ハ免許銃類ヲ登記スヘシ

第二項 明細簿ハ銃砲ノ賣買讓與改造廢毀其他出入變換ヲ記スヘシ

第三項 軍用銃ヲ獵銃ニ改造又ハ鑄潰シ燒爛等ニテ廢銃届出タルト

キハ現品調査ノ上改刻印ヲ削除スヘシ

第四項 無檢印ノ軍用銃改刻印ヲ願出タルトキハ豫テ第一部警保課

ヨリ回付スル番號ノ順次ヲ逐ヒ檢印ノ上下付シ其銃名番號及ヒ出

願者ノ族籍姓名ヲ同課ニ報告スヘシ

第五項 檢印アル軍用銃並免許銃ノ賣買讓受渡改造廢銃等ノ願届ハ

銃名番號及願届者ノ族籍姓名等ヲ前同様同課ニ報告スヘシ

第六項 前二項ノ報告ハ該月末分取繼メ翌月五日限リ各地差出報告スルモノトス

(訓令第九號ノ一) 三月二十五日

根室、紗那、網走、郡役所  
厚岸、釧路

明治十九年<sup>五月</sup>根室支廳乙第三十九號達林木拂下處分手續中左之通改正刪除ス

第二 全則第十九條ノ場合ニ於テハ直ニ實地及木材ノ檢査ヲ遂ケ其

不都合ナキモノハ願書余白へ檢査濟ト朱書シ契印ノ上本人へ

下付スヘシ

第三 削除



右訓令ス

(訓令第九號ノ二) 四月七日

郡區役所

戸長役場

小學校長及訓導ノ旅費ハ明治十九年<sup>六</sup>閣令第拾四號内國旅費規則ニ準シ本年<sup>一</sup>當廳丁第壹號達六等旅費ヲ支給シ授業生ノ旅費ハ本年<sup>二</sup>當廳令第四號看守傭員同様ノ額ヲ支給スヘシ

但授業法等講習ノ爲メ往復スルモノハ本文ノ限ニアラス

右訓令ス

(訓令第拾號) 四月七日

郡區役所

戸長役場

明治二十年度町村立小學校經費ノ豫算ハ北海道廳令第拾九號第九條ニ依リ更ニ豫算ヲ調製シ本年四月三十日限差出ヘシ

右訓令ス

(訓令第拾壹號) 四月七日

郡區役所

町村立小學校訓導<sup>一</sup>訓導ハ追テ何分之義相達スル迄ハ總テ從前ノ通心得ヘキ旨相達スヘシ

右訓令ス

(訓令第拾貳號) 四月十二日

郡區役所



戸長役場

今般北海道廳令第貳拾號ヲ以テ施行ノ小學校資産管理規程及經費收入支出方法中帳簿ノ様式ハ別紙ノ通各校同一ニ調製スヘシ

右訓令ス (帳簿様式略ス)

(訓令第拾三號) 四月十六日

根室、厚岸、釧路、郡役所  
網走、紗那

同部 内戸長役場

海軍下士卒徵兵ヲ除ク 戸籍上異動アルキハ其都度戸長ハ郡長ヲ經テ届出ツヘシ

但明治十九年二月海軍省乙第二號達下士卒結婚ノ儀ハ此限ニ在ラス  
右訓令ス

(訓令第拾四號) 四月二十三日

郡區役所

戸長役場小學校未設役場ヲ除ク

管下町村立小學校ニ要スル一ケ年ノ經費當分左ノ金額ヲ超エサル様節減ヲ加ヘ收支豫算取調伺出ヘシ

右訓令ス

一金四千百五拾壹圓 創成學校付第一分校

一金貳千百拾壹圓 量德學校

一金五百三拾四圓五拾錢 創成學校第一分校

一金三百貳拾七圓 山鼻學校

一金百六拾圓 圓山學校



- 一金三百貳拾七圓 琴似學校
- 一金百貳拾壹圓五拾錢 上手稻學校
- 一金百三拾三圓五拾錢 下手稻學校
- 一金百三拾三圓五拾錢 豐平學校
- 一金百八拾壹圓 白石學校
- 一金百三拾四圓五拾錢 月寒學校
- 一金百三拾四圓 苗穗學校
- 一金百三拾四圓五拾錢 藤古學校
- 一金百三拾貳圓 丘珠學校
- 一金百貳拾九圓五拾錢 篠路學校
- 一金百四拾貳圓 對雁學校

- 一金百八拾九圓 月形學校
- 一金百四拾貳圓 幌內學校
- 一金四百貳拾圓八拾錢 石狩學校
- 一金七拾壹圓 同 若生分校
- 一金百貳拾壹圓五拾錢 花畔學校
- 一金百五拾壹圓九拾錢 當別學校
- 一金百八拾八圓八拾錢 厚田學校
- 一金七拾貳圓 同 安瀨分校
- 一金百六拾五圓三拾錢 古潭學校
- 一金百九拾四圓七拾錢 茂生學校
- 一金百六拾貳圓五拾錢 群別學校



一金百五拾圓	熊碓學校
一金百五拾圓	朝里學校
一金百圓	同張碓分校
一金百六拾八圓九拾錢	錢函學校
一金六百九拾七圓	手宮學校
一金百七拾圓七拾錢	祝津學校
一金百貳拾壹圓五拾錢	同高嶋分校
一金百七拾六圓八拾錢	鹽谷學校
一金百五拾六圓五拾錢	桃內學校
一金百九拾四圓七拾錢	同忍路學校
一金百貳拾壹圓五拾錢	同蘭嶋分校

一金百七拾圓七拾錢	同大川學校
一金百四拾三圓五拾錢	同黑川分校
一金六百拾五圓	澤町學校
一金百六拾貳圓三拾錢	湯內學校
一金五百九拾九圓	濱中學校
一金百五拾三圓三拾錢	沖學校
一金三百三拾八圓七拾錢	小泊學校
一金百貳拾八圓九拾錢	同婦美分校
一金百貳拾八圓九拾錢	同幌武意分校
一金百六拾貳圓三拾錢	日司學校
一金百六拾貳圓三拾錢	來岸學校



- 一金六百三拾五圓 御銓內學校
- 一金百六拾貳圓三拾錢 野東學校
- 一金百六拾壹圓七拾錢 堀株學校
- 一金百六拾五圓六拾錢 修正學校
- 一金百七拾五圓六拾錢 泊學校
- 一金百八拾八圓拾錢 盃學校
- 一金百九拾六圓拾錢 神惠內學校
- 一金百貳拾八圓九拾錢 珊內學校
- 一金貳百九拾圓四拾錢 常盤學校
- 一金百三拾五圓五拾錢 室蘭學校
- 一金百貳拾七圓 輪西學校

- 一金五拾貳圓 同 塵別分校
- 一金百四拾圓 幌別學校
- 一金六百五拾九圓 紋鼈學校
- 一金百拾五圓 同 長流分校
- 一金百拾五圓 同 關內分校
- 一金百拾五圓 同 稀府分校
- 一金百拾五圓 有珠學校
- 一金百拾五圓 此田學校
- 一金百四拾四圓七拾錢 白老學校
- 一金百五拾五圓三拾錢 苫小牧學校
- 一金百三拾八圓九拾錢 千歲學校



- 一金百四拾圓 佐瑠太學校
- 一金三拾七圓 平取學校
- 一金百五拾七圓拾錢 門別學校
- 一金百三拾六圓五拾錢 日新學校
- 一金三百拾壹圓六拾錢 高靜學校
- 一金百四拾五圓五拾錢 同 捫別分校
- 一金貳百三拾七圓 浦河學校
- 一金貳百四拾五圓 幌泉學校
- 一金百四拾四圓 笛舞學校
- 一金百四拾四圓 油駒學校
- 一金百六拾圓四拾錢 小越學校

- 一金百六拾圓四拾錢 庶野學校
- 一金百六拾五圓三拾錢 廣尾學校
- 一金百六拾九圓拾錢 大津學校
- 一金二百八拾貳圓 增毛學校
- 一金百五拾圓貳拾錢 同 阿分分校
- 一金百五拾圓貳拾錢 同 舍熊分校
- 一金百七拾五圓六拾錢 別苻學校
- 一金百五拾九圓六拾錢 留萌學校
- 一金百五拾貳圓拾錢 三泊學校
- 一金百五拾貳圓拾錢 禮受學校
- 一金貳百三拾九圓 温寧學校



- 一金百六拾三圓四拾錢 力晝學校
- 一金百五拾九圓八拾錢 苦前學校
- 一金百九拾九圓五拾錢 利尻學校
- 一金貳千八百六拾六圓 彌生小學校
- 一金貳千七百五拾六圓 寶小學校
- 一金千九百九圓 松城小學校
- 一金千三拾八圓 福山女子小學校
- 一金八百三圓 熊野小學校
- 一金八百三圓 山上小學校
- 一金貳千百拾四圓 柏樹小學校

- 一金三百三拾貳圓五拾錢 龜田小學校
- 一金百三拾貳圓 鍛冶小學校
- 一金百貳拾九圓 神山小學校
- 一金百三拾貳圓 湯川小學校
- 一金百三拾貳圓 上湯川小學校
- 一金百貳拾九圓 赤川小學校
- 一金百三拾貳圓 桔梗小學校
- 一金百三拾貳圓 根崎小學校
- 一金百五拾圓五拾錢 志苔小學校
- 一金百三拾貳圓 錢龜小學校
- 一金百貳拾九圓 古川小學校



- 一金貳百八圓五拾錢 石崎小學校
- 一金百三拾貳圓 小安小學校
- 一金百三拾貳圓 瀨田來小學校
- 一金百三拾貳圓 汐首小學校
- 一金百三拾貳圓 戸井小學校
- 一金百七拾八圓 尻岸内小學校
- 一金百三拾貳圓 古武井小學校
- 一金百三拾貳圓 根田内小學校
- 一金百五拾圓五拾錢 榎法華小學校
- 一金百三拾貳圓 大中山小學校
- 一金三百九拾四圓 七重小學校

- 一金百五拾圓五拾錢 嶺下小學校
- 一金百貳拾九圓 軍川小學校
- 一金貳百七圓五拾錢 市渡小學校
- 一金三百拾九圓 大野小學校
- 一金百三拾貳圓 本郷小學校
- 一金百三拾貳圓 文月小學校
- 一金百貳拾九圓 鳴川小學校
- 一金五百四拾七圓 上磯小學校
- 一金百三拾貳圓 同 七重濱分校
- 一金百五拾圓五拾錢 沖川小學校
- 一金百三拾貳圓 柳溪小學校



- 一金百五拾圓五拾錢 富川小學校
- 一金貳百九拾三圓 茂邊地小學校
- 一金百貳拾九圓 當別小學校
- 一金百三拾貳圓 釜谷小學校
- 一金貳百九拾三圓 泉澤小學校
- 一金貳百貳圓 札苅小學校
- 一金百三拾貳圓 木古内小學校
- 一金百三拾貳圓 知内小學校
- 一金百貳拾九圓 同 涌元分校
- 一金百三拾貳圓 矢越小學校
- 一金貳百貳圓 白神小學校

- 一金百三拾貳圓 荒谷小學校
- 一金貳百八圓五拾錢 大澤小學校
- 一金三百拾九圓 福嶋小學校
- 一金百貳拾九圓 同 白苻分校
- 一金三百拾九圓 吉岡小學校
- 一金百三拾貳圓 宮歌小學校
- 一金百三拾貳圓 禮髭小學校
- 一金百三拾貳圓 根部田小學校
- 一金百三拾貳圓 札神小學校
- 一金百三拾貳圓 茂草小學校
- 一金百七拾八圓 清部小學校



- 一金貳百九拾三圓 江良町小學校
- 一金百三拾貳圓 原口小學校
- 一金百三拾貳圓 五明小學校
- 一金百三拾貳圓 砂館小學校
- 一金貳百九拾三圓 勝山小學校
- 一金五拾七圓 湯岱分校
- 一金五拾七圓 同 中須田小學校
- 一金五拾七圓 同 苦符分校
- 一金百三拾貳圓 安在小學校
- 一金百貳拾九圓 汐吹小學校
- 一金百貳拾九圓 早川小學校

- 一金五拾七圓 小砂子小學校
- 一金貳百八圓五拾錢 日進小學校
- 一金百三拾貳圓 田澤小學校
- 一金五拾七圓 伏木戸小學校
- 一金百三拾貳圓 柳崎小學校
- 一金百貳拾九圓 中崎小學校
- 一金百貳拾九圓 小黒部小學校
- 一金百三拾貳圓 目名小學校
- 一金百三拾貳圓 土橋小學校
- 一金五拾七圓 俄虫小學校
- 一金百三拾貳圓 鶉小學校



- 一金百三拾貳圓 瀧廻小學校
- 一金三百拾九圓 乙部小學校
- 一金百七拾八圓 小茂内小學校
- 一金貳百貳圓 突苻小學校
- 一金百三拾貳圓 愛教小學校
- 一金貳百貳圓 三谷小學校
- 一金貳百七圓五拾錢 畝柱小學校
- 一金三百拾九圓 相沼小學校
- 一金三百拾九圓 泊川小學校
- 一金貳百八圓五拾錢 雲石小學校
- 一金百三拾貳圓 同 小平田内分校

- 一金貳百貳圓 關内小學校
- 一金貳百九拾三圓 森小學校
- 一金五拾七圓 宿野邊小學校
- 一金百三拾貳圓 白瀨小學校
- 一金百五拾圓五拾錢 砂原小學校
- 一金百貳拾九圓 鹿部小學校
- 一金百三拾貳圓 熊泊小學校
- 一金貳百貳圓 白尻小學校
- 一金百三拾貳圓 川汲小學校
- 一金百三拾貳圓 尾札部小學校
- 一金百三拾貳圓 木直小學校



- 一金五拾七圓 木直小學校
- 一金百三拾貳圓 古部分校
- 一金百五拾圓五拾錢 鷺木小學校
- 一金百三拾貳圓 石谷小學校
- 一金百貳拾九圓 落部小學校
- 一金百三拾貳圓 同野田生分校
- 一金百貳拾九圓 山越內小學校
- 一金百三拾貳圓 遊樂部小學校
- 一金百三拾貳圓 八雲小學校
- 一金五拾七圓 同黑岩分校
- 一金百三拾貳圓 長萬部小學校
- 一金百七拾八圓 原歌小學校

- 一金百三拾貳圓 嶋牧小學校
- 一金五拾七圓 江泥邊小學校
- 一金百貳拾九圓 輕白小學校
- 一金百三拾貳圓 本目小學校
- 一金五拾七圓 歌嶋小學校
- 一金六百九拾七圓 中歌小學校
- 一金百貳拾九圓 政泊小學校
- 一金百五拾圓五拾錢 溪川小學校
- 一金百貳拾九圓 湯別小學校
- 一金五拾七圓 黑松內小學校
- 一金貳百八圓五拾錢 歌棄小學校



- 一金百三十拾貳圓 歌棄小學校
- 一金貳百八圓五拾錢 美谷分校
- 一金百五拾圓五拾錢 磯谷小學校
- 一金百貳拾九圓 橫淵小學校
- 一金貳百貳圓 尻別小學校
- 一金百三十拾貳圓 久遠小學校
- 一金五拾七圓 上古丹小學校
- 一金百三十拾貳圓 太田小學校
- 一金百貳拾九圓 淳風小學校
- 一金百貳拾九圓 平田內小學校
- 一金百三十拾貳圓 貝取瀨小學校
- 長磯小學校

- 一金百七拾貳圓五拾錢 奧尻小學校
- 一金百三十拾貳圓 太櫓小學校
- 一金貳百貳圓 瀨棚小學校
- 一金五拾七圓 鳴歌小學校
- 一金千四百三十拾壹圓 花咲小學校
- 一金貳百拾八圓五拾錢 白糠小學校
- 一金四百拾八圓五拾錢 日進小學校
- 一金百七拾八圓五拾錢 同 桂戀分校
- 一金百七拾八圓五拾錢 昆布森小學校
- 一金百七拾八圓五拾錢 跡永賀小學校



- 一金貳百五拾壹圓 朝曦小學校
- 一金百貳拾九圓 同 真龍分校
- 一金貳百拾八圓五拾錢 競進小學校
- 一金百七拾八圓五拾錢 霧多布小學校
- 一金百貳拾九圓 同 散布分校
- 一金貳百拾八圓五拾錢 花咲小學校
- 一金百七拾八圓五拾錢 幌茂尻分校
- 一金貳百拾八圓五拾錢 別海小學校
- 一金貳百拾八圓五拾錢 標津小學校
- 一金貳百拾八圓五拾錢 國後小學校
- 一金貳百四拾圓五拾錢 紗那小學校

(訓令第拾五號)

四月二十六日

郡區役所  
戸長役場

鑛山事務取扱手續左ノ通相定ム

但本文ニ抵觸スル從前ノ達ハ廢止ス

鑛山事務取扱手續

第一條 鑛山試掘借區及採取爐稼等出願者有之節ハ其身元ハ勿論資力ノ多少並將來確實ノ坑業ヲ營得ヘキヤ否篤ト取調願書ヘ郡區長ノ意見書ヲ添テ差出スヘシ

第二條 借區及採取等ノ坑業明細表ハ工部省明治六年十二月第十七號並全十三年三月第六號達書式ニ照準每期二通ヲ製シ上半期分ハ其年七月十日限下半期分ハ翌年一月十日限差出サセ其月十三日迄



ニ發送スヘシ

第三條 試掘行業日數工數及産鑛量等ノ調書ハ別紙第壹號雛形ニ照準毎期ニ通テ製シ前條期限ノ通差出サセ發送スヘシ

第四條 試掘借區採取等坑業表差出ス節ハ証券番號ヲ記入セシムヘシ

但試掘延期讓渡廢業其他坑業人ニ關係ノ書類差出ストキモ亦本條ニ準スヘシ

第五條 試掘鑛場ヨリ發見スル礦物見本ハ毎種産出ノ地名掘採人ノ氏名及試掘券番號等ノ調書ヲ添ヘ差出サシムヘシ

但試掘ヲ經スシテ借區開坑スル者モ亦本條ニ準ス

第六條 鑛物見本ハ質ノ有鑛無鑛ニ係ハラヌ礦石類ハ方三寸ヨリ大

ナラサルモノ三瓩砂金ハ可成大粒ヲ撰ミ目方一匁ヨリ三匁マテ砂鐵ノ類ハ字毎ニ目方十匁石油山鹽等ハ字一ヶ所ニ付ニ合テ限り毎種上中下三品差出サシムヘシ

但結晶物ノ價格アルモノ並砂金ハ相當ノ代價下渡スヘシ

第七條 借區開坑出願ノ節願書ニ添付スヘキ日本坑法第三章第九款

第二項ノ測量圖ハ別紙第貳號雛形ニ照準セシムヘシ

第八條 前條測量圖調製シ能ハサル者測量方願出ルルハ許可スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ測量ニ係ル實費ハ辨償セシムヘシ

第九條 一鑛山ヲ數人各自ニ分區營業ノ者ハ雙方坑區ノ中間ニ拾間以上ノ距離ヲ設ケシムヘシ

但坑區ノ中間地ニ於テ探鑛セサルヲ得サル場合ハ雙方借區人示



談ノ上運署ヲ以テ増借區開坑出願セシムヘシ

第十條 坑口水抜道路新設木石置場、土砂棄場、詰所、作事場、洗鑛所等鑛業上必要ノ爲メ官有地ヲ借用セントスルトキハ借區開坑又ハ試掘許可ノ上地名坪數等取調繪圖面添更ニ出願セシムヘシ

但借區坪數ハ鑛坑内面ノ義ニ付需用ノ土地ト混同セサル様心得ヘシ

第十一條 日本坑法第八章第卅一欸但書ノ場合ニ於テハ二月一日ヲ以テ借區券ヲ取揚且同時ニ營業ヲ禁止スヘキニ付豫テ注意スヘシ但本條ニ依リ禁止ノモノハ同法第三十二欸ニ照シ税金徴收ニ及ハス

第十二條 前條期日ニ至リ税金未納ノ者有之節ハ直ニ届出ヘシ

第十三條 諸坑場稼人廢業願出又ハ證券引上坑業禁止ノ者ト雖モ本則第二條ニ據リ其月迄ノ坑業明細表調製差出サシムヘシ但分區廢業ハ此限ニアラス

第十四條 試掘及借區開坑等滿期ニ至リ試掘者ハ借區又ハ延期廢業等開坑者ハ繼年期或ハ廢業等願出ル節借區及延期繼年期ハ期限十日以前廢業ハ期限后五日以内ニ差出サセ何レモ三日間以内ニ發送スヘシ

但本文願出ノ節ハ必ス証券ヲ添ヘ差出サシムヘシ尤モ廢業願ハ坑法第二十七欸ニ據リ其發坑跡手當方等詳記セシムヘシ

(雜形略ス)

(訓令第拾六號) 四月二十八日



郡區役所  
戸長役場

農商務通信規則並様式別冊之通り改正ス

但明治十九年<sup>六</sup>本廳已第六拾六號全年<sup>七</sup>函館支廳乙第拾號全年一  
月根室支廳乙第八拾九號達ハ廢止ス

(別冊)

農商務通信規則

第一條 農商務通信ハ農商工及漁獵山林ニ關スル事件ヲ調査報告ス  
ルモノトス其様式ヲ定ムル別紙ノ如シ

第二條 郡區書記一名乃至二名及戸長ヲシテ農商務通信員トナシ區  
内一切ノ通信事務ヲ擔當セシメ郡區長之ヲ統督スヘシ

第三條 農商務通信取調上必要ト認ムルトキハ區内當業者一名乃至  
三名ヲ限リ其通信ヲ囑托スルヲ得

但此場合ニ於テハ其調査件數ノ多少ニ依リ相當ノ報酬金ヲ給與  
スルヲアルヘシ

第四條 通信員ハ區内通信事項ヲ調査シ郡區役所ニ送付シ郡區役所  
ハ之ヲ一括シテ第二部へ送付スヘシ

但通信員ノ住所族籍姓名年齢ヲ詳記シ豫メ報道スヘシ

第五條 農商務通信區ヲ定ムル左ノ如シ

- 第一區 札幌區役所々轄 石狩國札幌區
- 第二區 札幌郡役所々轄 石狩國札幌、上川、樺戸、雨籠、空知、夕張、六郡
- 第三區 石狩郡役所々轄 石狩國石狩、厚田、濱益、三郡



- 第四區 小樽郡役所々轄 後志國小樽、高嶋、忍路、余市、四郡
- 第五區 古平郡役所々轄 後志國古平、美國、積丹、三郡
- 第六區 岩内郡役所々轄 後志國岩内、古宇、二郡
- 第七區 壽都郡役所々轄 後志國壽都、嶋牧、磯谷、歌棄、四郡
- 第八區 久遠郡役所々轄 後志國久遠、奧尻、太櫓、瀬棚、四郡
- 第九區 檜山郡役所々轄 渡嶋國檜山、爾志、二郡
- 第十區 松前郡役所々轄 渡嶋國松前一郡
- 第十一區 函館區役所々轄 渡嶋國函館一區
- 第十二區 龜田郡役所々轄 渡嶋國龜田、上磯、二郡
- 第十三區 茅部郡役所々轄 渡嶋國茅部一郡、膽振國山越一郡
- 第十四區 室蘭郡役所々轄 膽振國室蘭、虻田、有珠、幌別、四郡

- 第十五區 勇拂郡役所々轄 膽振國勇拂、白老、千歲、三郡、日高國沙流、新冠、靜内、二郡
- 第十六區 浦河郡役所々轄 日高國浦河、三石、様似、幌泉、四郡、十勝國廣尾、當縁、十勝、中川、河東、河西、上川、七郡
- 第十七區 釧路郡役所々轄 釧路國釧路、白糠、川上、阿寒、足寄、五郡
- 第十八區 厚岸郡役所々轄 釧路國厚岸一郡
- 第十九區 根室郡役所々轄 根室國根室、花咲、野付、標津、目梨、五郡、千嶋國、國後、色丹、得撫、新知、占守、五郡
- 第二十區 紗那郡役所々轄 千嶋國紗那、振別、擇捉、藥取、四郡
- 第二十一區 網走郡役所々轄 北見國網走、斜里、常呂、紋別、四郡
- 第二十二區 宗谷郡役所々轄 北見國宗谷、枝幸、禮文、利尻、四郡
- 第二十三區 増毛郡役所々轄 天鹽國増毛、留萌、天鹽、中川、上川、苫前、六郡



第六條 通信ヲ分テ定期報、臨時報ノ二種トス。定期報トハ通信事項  
中期限ヲ定メタルモノ臨時報トハ期限ニ係ラス臨時特報スルモノ  
ヲ云フ

但臨時報ニハ電信ヲ用フルヲアルヘシ

第七條 報告上物質形狀等文辭ニ悉シ難キモノハ圖畫寫眞雜形若ク  
ハ見本ヲ添ヘ報告スヘシ其數量、比例歩合ニ關スルモノハ一覽表  
ヲ付スヘシ

但雜形若クハ見本等荷嵩ノ物ハ遞送前第二部ニ照會シ其差圖ヲ  
受クヘシ

第八條 報告文ハ成ルヘク平易ノ文字ヲ用ユヘシ又地方ニ因リ斤、  
俵、束、反、石、本等普通ノ數量ニ増減アルモノハ之ヲ註記シ且ツ方

言ハ解説ヲ加フヘシ

第九條 凡ソ統計ハ正確簡明捷覽ニ供スルヲ以テ目的トス故ニ常ニ  
一定ノ法ニ據リ之ヲ調査シ連年連月比較ヲ爲シ得ルヲ要ス若シ已  
ムヲ得ス調査法若クハ品目數稱等ヲ變換スルキハ其事由ヲ詳記ス  
ヘシ

第十條 表中物品ノ出入増減又ハ價格昂低等著シキ變動ヲ生スルキ  
ハ必ス備考欄内又ハ別紙ニ其事由ヲ附記スヘシ

第十一條 表中記入スヘキ事物ナキトキハ(―)事實ノ記スヘクシテ  
未タ調査ヲ經サルモノハ(?)正確ナラサルモノハ(概)又ハ(凡)ト  
記スヘシ

第十二條 通信員ハ定期報及臨時報ノ外農商工及漁獵山林ニ關シ左



記ノ事ハ務テ注意報告スヘシ

一 諸會社協會ノ創立廢止

但創立ニハ定款規則ヲ添爾後改正増補アルハ及年報々達等

ハ得ルニ從ヒ通報スヘシ其冊數浩瀚ニ亘ルモノハ目錄並要

旨ヲ摘録スルモ妨ケナシ

二 有功者ノ事蹟

三 改良、發明、試驗ノ成績及之ニ關スル地方從來ノ習慣等

四 共進會集談會等ノ景況及出品ノ種類

五 漁業、採藻等始終兩期間ノ景況

第十三條 農商工漁獵山林ノ事件ニ對シ他官廳ヨリ直ニ諮問アルト

キハ第二部ヲ經テ其應答ヲ爲スヘシ若シ至急ヲ要スル場合ニハ直

ニ應答シ其往復文書ノ寫ヲ添へ第二部へ申報スヘシ

(様式略ス)

(訓令第拾七號) 四月二十九日

郡區役所

明治十五年第五拾號公布以前岡山縣人民宿村遞送繰替金償却未濟ノ  
分左表ニ據リ取調方期日ヲ定メ該縣ヨリ照會有之尤期日迄ニ回報無  
之キハ一切關係ヲキモント見做シ完結ノ趣ニ付來ル六月十五日迄ニ  
有無共申出ヘシ

繰替年月日	繰替金員	事由	遞送年月日 並府縣名	原籍地名	姓名	繰替場所



(訓令第拾八號)

四月三十日

郡區役所

米國東洋艦隊旗艦ブルークリーン號我國海岸巡視ノ際不開港場へ入  
進且乗組員上陸免狀交付ノ儀ニ付別紙ノ通内務省ヨリ通知有之候條  
諸事不都合ナキ様取計フヘシ

(別紙)

外丙第一二號

米國東洋艦隊旗艦ブルークリーン號我國海岸巡視ノ儀本邦駐劄同國  
公使ヨリ申出候ニ付別紙ノ通不開港場へ寄航ノ免狀交付候旨外務省  
ヨリ通知有之候ニ付及御通知候也

明治二十年四月十四日

内務書記官

北海道廳長官岩村通俊殿

(別紙)

第五十號

米國東洋艦隊旗艦

ブルークリーン號

割印

右ハ我國海岸巡航ノ儀米國公使ヨリ申出候ニ付不開港場ト雖モ該艦  
入進且乗組員艦長海軍少將アール、チャンドレル氏並士官水夫共上  
陸ノ儀不苦候條何等應分ノ請求申出候節ハ相當ノ補助可致事

明治二十年四月十一日

外務省

印

(訓令第拾九號)

四月三十日























船 車  
稅 稅

但欄内狹隘ニシテ記載シ難キハ付箋スルモ妨ケナシ

一 他郡區並他府縣ヨリ入ハ他郡區又ハ他府縣ヨリ入籍シ  
当期納稅濟ノモノヲ記載スヘシ

一 破解並ニ流失ハ破船解船及流失又ハ盜難ニ罹リシモノ  
若クハ有稅船ヨリ免稅船ヘ變入セシモノヲ併記シ内何  
艘有稅ヨリ(盜難)ト朱書スヘシ

一 但第二項但書ニ同シ  
改量ハ船體ヲ變更シ積量若クハ増減ヲ生シタルキハ現  
量當該欄内ニ記入シ元積量又ハ間數欄内ニハ朱書スヘ  
シ

但船舶ノ使用ヲ變更(解漁船ヨリ遊船ニ變スル類)セシモノハ本項ニ  
準シ記載シ其理由ヲ傍記スヘシ

煙草 賣藥 牛馬 免許  
稅 稅 稅 稅

一 前月ヨリ越高ハ前月ノ差引計ノ員數ヲ移記スヘシ  
但毎年四月分報告ニハ前年度ノ越高ヲ記載スヘシ

一 新規ハ其月許可セシ員數ヲ記入スヘシ  
廢業ハ全年分半年分収稅濟ノ二種ヲ記入スヘシ

一 最初報告ニハ當月中許可ノ欄内ノミヲ用井第二回ニハ  
前月ノ計ヲ報告既濟ノ欄内ヘ移記シ其月許可ノ分ト合  
算シテ計ノ部ヘ記入スヘシ

酒造免許  
稅

一 前月ヨリ越高ハ前月ノ差引計ヲ移記スヘシ  
但毎年十月分報告ニハ前年度ヨリ引續許可ノ分ヲ記  
載スヘシ

一 當月中免許ハ其月免許セシ鑑札枚數ヲ記載スヘシ  
他郡區並ニ他府縣ヨリ入ハ他郡區又ハ他府縣ヨリ入籍  
シ当期納稅濟ノモノヲ記載スヘシ

一 廢業ハ引續何枚新規何枚ト記載スヘシ

(函館)(龜田)(松前)(檜山)(茅部)(久遠)(壽都)(根室)  
(紗那)(厚岸)(釧路)(網走)郡區役所部内ハ甲號(札幌)  
(小樽)(古平)(岩内)(石狩)(増毛)(宗谷)(勇拂)(室  
蘭)(浦河)郡區役所部内ハ乙號書式ニ據リ調整スヘシ  
但(根室)(紗那)(厚岸)(釧路)(網走)郡役所部内ハ甲  
乙種ノ區分ヲ要セス

(訓令第貳拾號)

四月三十日

郡 區 役 所

租稅表及報告表調理順序別冊ノ通改定ス

(別冊略ス)

(訓令第貳拾壹號)

五月二日



本年<sup>二月</sup>已第拾八號達第一部歲入豫算條規第五條及第六條二十年度以降廢止ス

郡區役所

(訓令第貳拾貳號) 五月三日

郡區役所

明治二十一年度第一部歲入豫算書ノ儀ハ明治二十年度第一部歲入科目ヲ適用調成候儀ト心得ヘシ

(訓令第貳拾三號) 五月三日

郡區役所

國稅<sup>地租</sup>除<sup>シ</sup>テ檢査ハ便宜戶長ヲシテ之ヲ爲サシムルヲ得但此場合ニ於テハ郡區書記ヲシテ其當否ヲ監査セシムヘシ

(訓令第貳拾四號) 五月四日

郡區役所

戶長役場

常備歸休兵豫備役後備軍驅員兵員召集及教導團生徒旅費概則左之通定メラル

但明治十四年<sup>九月</sup>陸軍省達甲第貳拾貳號達ハ廢セラル

第一條 教導團ニ入學及常備歸休兵豫備役後備軍驅員兵員召集旅費十里詰金四拾錢滯在日當金貳拾八錢ヲ給スヘシ但十里以上ノ端里數一里以上六里未滿ハ日當ノ半額六里以上ハ全額ヲ給ス

第二條 近方三里未滿ハ給セス三里以上六里未滿ハ半額ヲ給シ六里以上ハ全額ヲ給ス但三里未滿ト雖モ一泊セシムルハ金貳拾錢三



里以上六里未滿一泊セシムルハ金四拾錢ヲ給シ又召集地ニ到着  
翌日午後ニ至リ入營セシムルハ別ニ晝食料金八錢ヲ給ス  
(訓令第貳拾五號) 五月六日

警察署  
監獄署

警察官監獄官定員左ノ通定ム

警察官

札幌警察署

警部警部補

五人

函館警察署

警部警部補

九人

龜田警察署

警部警部補

二人

福山警察署

警部警部補

二人

江差警察署

警部警部補

三人

森警察署

警部警部補

一人

久遠警察署

警部警部補

一人

壽都警察署



警部警部補

二人

岩内警察署

警部警部補

一人

古平警察署

警部警部補

一人

小樽警察署

警部警部補

三人

石狩警察署

警部警部補

一人

增毛警察署

警部警部補

一人

室蘭警察署

警部警部補

一人

勇拂警察署

警部警部補

一人

浦河警察署

警部警部補

一人

釧路警察署

警部警部補

一人

厚岸警察署

警部警部補

一人

根室警察署



警部警部補

二人

網走警察署

警部警部補

一人

宗谷警察署

警部警部補

一人

紗那警察署

警部警部補

一人

監獄官

空知監獄署

書記

七人

看守長

四十六人

監獄醫

一人

樺戸監獄署

書記

七人

看守長

三十三人

監獄醫

一人

釧路監獄署

書記

七人

看守長

十六人

監獄醫

一人

札幌監獄署

書記

二人



看守長	四人
監獄醫	一人
函館監獄署	
書記	二人
看守長	四人
監獄醫	一人
根室監獄署	
書記	二人
看守長	二人
監獄醫	一人

(訓令貳拾六號) 五月六日

郡區役所

本年三月已第貳拾五號達陸軍歸休兵並ニ豫備役後備軍軀員兵員臨時召集旅費金支出スヘキ金庫區域左ノ通改定セラル

陸軍諸兵臨時召集旅費支出金庫區域

函館區	函館國庫金出納所
-----	----------

函館國庫金出納所

松前郡ノ内福山	福山出納支所
---------	--------

全

檜山郡ノ内江差	江差 全
---------	------

(訓令第貳拾七號) 五月七日

警察署



監獄署

巡查看守召募及免職歸郷旅費左ノ通相定本年四月一日ヨリ施行ス  
 但支給方ハ明治十九年六月内務省令第十一號第三條第二項第三項  
 第四項ニ依ルヘシ

巡查看守召募及免職歸郷旅費額

管外旅費	一里毎ニ	管内旅費	一里毎ニ
金五錢		金七錢	
	四月ヨリ十月マテ		十一月ヨリ三月マテ
		金拾錢	

(訓令第貳拾八號) 五月九日

各部

北海道廳處務細則左ノ通之ヲ定ム

北海道廳處務細則

第一章 分課組織

第一條 第一部中各課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス

庶務課

- 一 廳令訓令告諭告示案及定例成規ヲキ各部ノ回議ヲ審査スル事
- 二 法令公布ニ關スル事
- 三 文書ノ淨寫印刷及接受發送ニ關スル事
- 四 褒賞賑恤ニ關スル事
- 五 外國人ニ關スル事
- 六 他部及部中他課ノ主掌ニ屬セサル事



郡治課

- 一 區町村費及共有財産ニ關スル事
- 二 郡區役所戸長役場ニ關スル事
- 三 戸籍ニ關スル事
- 四 社寺宗教ニ關スル事
- 五 兵事及恩給扶助吊祭ニ關スル事

警保課

- 一 警察ニ關スル事
- 二 監獄ニ關スル事
- 三 衛生及病院ニ關スル事

職員課

- 一 職員進退ニ關スル事
- 二 官印廳印ヲ管守スル事
- 三 服務時限出勤簿及當直ニ關スル事

記録課

- 一 記録編纂ニ關スル事
  - 二 統計ニ關スル事
  - 三 官報々告ニ關スル事
  - 四 圖書保存及出納ニ關スル事
  - 五 圖書出版及板權ニ關スル事
- 教育課
- 一 學校教育ニ關スル事



二 學校職員ニ關スル事

第二條 第二部中各課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス

農商課

一 殖民開墾樹藝牧畜養蠶ニ關スル事

二 工商業銀行會社組合度量衡專賣特許商標ニ關スル事

三 漁獵採藻ニ關スル事

四 家畜衛生及害虫驅除ニ關スル事

五 博物及共進會博覽會ニ關スル事

六 所屬農場工場及牧畜場管理ニ關スル事

七 農工商通信ニ關スル事

八部中他課ノ主掌ニ屬セサル事

地理課

一 地籍ニ關スル事

二 地形測量ニ關スル事

三 地質調査ニ關スル事

四 水面埋立ニ關スル事

五 森林ニ關スル事

六 礦山ニ關スル事

七 觀象測候ニ關スル事

遞信課

一 水陸運輸ニ關スル事

二 驛遞郵便及貯金ニ關スル事



三 里程標渡船場ニ關スル事

四 電信燈臺浮標ニ關スル事

五 船舶及海員信號ニ關スル事

第三條 第三部中各課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス

土木課

一 河港堤防道路橋梁排水溝渠ニ關スル事

二 鐵道築造ニ關スル事

三 道路堤防ノ樹木保護ニ關スル事

四 部中他課ノ主掌ニ屬セサル事

營繕課

一 官衙其他官有建物ノ建築修繕ニ關スル事

第四條 第四部中各課ニ於テハ左ノ事務ヲ分掌ス

檢查課

一 金錢物品ノ出納及官有財産ノ増減ヲ檢查スル事

二 部中他課ノ主掌ニ屬セサル事

出納課

一 金錢ノ管理及出納ニ關スル事

二 歲出豫算決算ニ關スル事

公債課

一 諸公債及貸下金ニ關スル事

二 雜種金及準備米ニ關スル事

三 作業費ニ關スル事



用度課

- 一 官有財産ニ關スル事
  - 二 調度物品ニ關スル事
  - 三 不用物品ニ關スル事
  - 四 廳中取締及廳構内外掃除ニ關スル事
  - 五 門候給仕小使ノ進退ニ關スル事
- 和稅課

- 一 第一部 第二部 歲入ニ關スル事
- 二 地方稅及地方雜收入ニ關スル事
- 三 租稅監査ニ關スル事
- 四 民有地ニ關スル事

第五條 臨時ノ事務ヲ處理セシムル爲メ特ニ委員ヲ置クコトアルヘシ

第六條 各課長事故アルトキハ該課上席ノ判任官其職務ヲ代理ス

第七條 各部中ニ往復主務若干員ヲ置キ文書授受等ノ事務ヲ取扱ハ

シム

第二章 處務例規

第八條 凡ソ本廳ニ到達スル文書ハ庶務課ニ接受開封親展ヲ除シ到

達年月日接受番號ヲ本書ノ欄外ニ記入ノ上接受件銘簿ニ其宛名番

號等ヲ登記シ即日各部ニ配付スヘシ但退廳時限ニ切迫接受シタル

モノハ翌朝配付スルヲ得ルト雖モ特ニ期限アルモノ其他緊急事件

ハ直ニ配付スヘシ

第九條 到達文書ニシテ親展ノモノハ封皮面ニ記號シ封書配付簿ニ



其記號官氏名ヲ登記ノ上長官宛ハ第一部長ニ其他ハ直ニ名宛ニ配付ス

第十條 到達文書ニシテ稟申ニ對スル閣省ノ指令及訓令等ハ第一部長ヲ經テ長官ノ閱覽ニ供シタル後庶務課ニ於テ謄本ヲ作り前條ニ據リ各部長ニ配付スルハ謄本ヲ以テシ正本ハ記録課ニ交付シテ別ニ保存スヘシ

第十一條 各部ニ配付ヲ受ケタル文書ハ各部往復主務之ヲ接受ス但其事務取扱手續ハ各部長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十二條 各部長ハ配付ヲ受ケタル文書ヲ査閲シ其輕重緩急ヲ計リ長官ノ査閲ニ供シ又ハ其處務ノ方法ヲ授ケ主務ノ課長ニ配付スヘシ

第十三條 課長ハ其文書ヲ受ケテ自ラ主任ト爲リ又ハ他ノ主任ニ配付シ遅クモ三日以内ニ處分案ヲ起シ課長檢印ノ上之ヲ部長ニ出シ部長之ヲ査閲シテ長官ノ判決ヲ請フ其處分ヲ要セサルモノハ閱覽ニ供ス但長官ノ判決又ハ閱覽ヲ請フニ及ハサルモノハ部長限り之ヲ處分スヘシ

第十四條 數課ニ關係スル文書ハ主務ノ課ニ於テ處分案ヲ起草シ關係各課檢印ノ後周尾ヨリ主務ノ課ニ還付スヘシ若シ彼是意見ヲ異ニスルトキハ部長ニ面陳シテ其指揮ヲ受ケ部長互ニ異議アルトキハ長官ノ判決ヲ請フヘシ

第十五條 他課ヨリ合議スル事件ハ其事關係ノ主任及課長檢印シテ部長ニ出シ部長査閲ノ上遅クモ三日以内ニ之ヲ主務ノ課ニ

連帶ノ課  
アルトキ



ハ先ツ連帶ノ課ニ回付ス若シ判決ノ如何ヲ知ント欲セハ課名ノ上ニ(要再回)ノ印ヲ捺スヘシ

第十六條 凡ソ文書ノ配付發送又ハ起草若クハ判決事件ノ執行ハ定期ヲ過クルヲ得ス若シ實地ヲ踏査シ又ハ圖面卷冊ヲナシタルモノ、淨寫又ハ印刷スヘキモノ等總テ時日ヲ要スル見込アルトキハ其時日ヲ豫定シ主務ノ課長ヨリ部長ニ陳告スヘシ

第十七條 事ノ緊急ニ係ルモノハ定期常例ニ拘ラス速ニ起案シ他課ニ關係アルトキハ主任者自ラ携帶シテ其議ヲ取り判決濟施行ニ至ルマテノ順序モ亦便宜ニ從フコトヲ得但帳簿ニ登記スル等ノ手續ハ施行ノ後之ヲ履踐スヘシ

第十八條 凡ソ至急ヲ要スル文書ハ紅色紙ヲ上端ニ貼付シ本人持參

シテ指令ヲ待ツモノハ(爲待置)ト記シタル付箋ヲ上端ニ貼付スヘシ

第十九條 機密文書調査ノ命ヲ受ケタルモノハ通常ノ手續ニ據ルヲ要セス便宜事ニ從ヒ其回議ニハ秘ノ字ヲ上端ニ朱記シ取扱ノ際漏泄セサル様特ニ注意處理スヘシ

第二十條 上官ノ命ニ依リ一時處分ヲ停メタル文書ハ總テ各課長ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第二十一條 判決又ハ閱覽濟ノ文書ハ主務ノ部長ニ下シ部長ヨリ課長ヲ經テ主任ニ付ス主任ハ其文書ニ判決又ハ閱覽濟ノ月日ヲ登記シ長官名ヲ以テ施行スルモノハ直ニ庶務課ニ交付シ  
附屬書類ハ淨寫校合シ原按ト共ニ交部長名ヲ以テ施行スルモノハ淨寫校合シ無封ノ儘庶務課ニ交



付スヘシ

第二十二條 庶務課ニ於テ判決濟ノ文書ヲ受クルトキハ直ニ淨寫校合シ年月日番號ヲ記入シ職員課ニ就キ長官印又ハ廳印ヲ受ケ發送件銘簿ニ其件名番號等ヲ登記ノ上即日發送シ原書ハ主務ノ課ニ還付スヘシ但午後ニ來ルモノハ要急ノモノヲ除クノ外翌日午前ニ淨寫スルコトヲ得

各部長名ノ文書ヲ受クルトキハ番號ヲ記入シ其件銘簿ニ登記スルノ手續ハ前項ニ全シ但退廳時限ニ切迫交付スルモノハ翌日送達スルコトヲ得ルト雖トモ緊急ノモノハ此限ニアラス

第二十三條 前條淨寫ノ際原文ニ誤謬アリ又ハ公文ノ例規ニ違フト認ムル中ハ庶務課長ヨリ主務ノ課長ニ通議シ原文ノ訂正ヲ經テ之

ヲ淨寫スヘシ

第二十四條 發送文書ニシテ親展ノモノハ封皮面ニ記號シ封書發送簿ニ其記號官氏名ヲ登記ノ上發送スヘシ

第二十五條 凡ソ交付スル文書ハ交付簿ニ領收者ノ捺印ヲ要スヘシ

第二十六條 凡ソ郵送スヘキ文書ハ總テ庶務課ニ交付シ同課ニ於テ取纏メ其種類ヲ分テ郵送簿ニ登記ノ上郵便局ニ送付スヘシ

第二十七條 庶務課ニ於テ接受シタル文書ニシテ其回答指令等ニ係ルモノハ接受件銘簿ニ完結ノ旨ヲ記入シ又發送ノ文書ニシテ回答指令等ニ係ルモノハ發送件銘簿ニ全上ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十八條 庶務課ハ毎月二回<sup>十五</sup>日<sup>末</sup>接受件銘簿ヲ點檢シ指令又ハ回答故ナク十五日以上稽留スルトキハ延滯事件表ヲ製シ主任ヲシ



テ其事由ヲ記載セシメ之ヲ主務ノ部長ニ報告スヘシ

第二十九條 庶務課ニ於テ每年末接受發送スル文書ノ數ヲ算シ年表ヲ製シ翌年一月長官ノ査閲ニ供スヘシ

第三十條 電報到達スルキハ庶務課ニ接受翻譯シ其件名宛名等ヲ到達電報録ニ登記ノ上第八條第十條ノ手續ニ據リ即時配付シ親展ニ係ル者ハ封ノ儘長官宛ハ第一部長ニ其他ハ直ニ名宛ニ配付スヘシ電報ヲ發スルトキハ庶務課ニ於テ賴信紙ニ淨寫校合シ其件名宛名及字數電報料等ヲ發送電報録ニ登記ノ上發送シ原書ハ主務ノ課ニ還付スヘシ

親展ハ其發着ノ廳名官氏名字數電報料等ヲ封皮面ニ明記シテ庶務課ニ交付スヘシ

第三十一條 凡ソ文書ノ處分完結シタルモノハ別ニ定ムル所ノ規則ニ據リ記録課ニ交付シテ編纂保存スヘシ

第三章 公文例規

第三十二條 凡ソ公文ハ番號及年月日ヲ記入ス其印刷シタルモノ、外ハ印章ヲ捺シ原書ト割印スヘシ但指令ハ番號ヲ記スルノ限ニアラス

第三十三條 廳令訓令告示告諭及閣省ニ稟申スル文書ハ長官名ヲ署シ閣省ノ各局及廳府縣等ニ往復スル文書ハ其輕重ニ依リ長官名又ハ部長名ヲ以テスヘシ

第三十四條 各部ヨリ所轄各官衙ニ往復スル文書ハ部長名ヲ署スヘシ



第三十五條 廳令訓令告示告諭公告及稟申往復文書ノ番號ハ左ノ區別ニ依リ訓令ハ前行ニ其宛名ヲ署スヘシ

一 廳令 北海道廳令第號

一 訓令 北海道廳訓令第號

一 告示 北海道廳告示第號

一 告諭 北海道廳告諭第號

一 公告 北海道廳公告第號

一 內閣總理大臣及各省大臣ニ進達ノ文書第 號

一 關省ノ各局及廳府縣裁判所等總テ他管廳ニ發送ノ文書ニシテ第一部ノ調理ニ係ルモノ 北海道廳 甲 第號

一 郡區役所戶長役場等總テ所轄各官衙ニ發送ノ文書ニシテ第一部ノ調理ニ係ルモノ 北海道廳 乙 第號

第三部第三部第四部ノ調理ニ係ルモノハ第一部ノ例ニ準ス

第三十六條 凡ソ指令ノ官吏及人民ニ對スルモノハ本書ノ餘白ニ朱

書シ餘白ナキトキハ別ニ罫紙ニ書シ本紙ト割印ス其所轄各官衙ノ

稟申ニ對スルトキハ別紙ニ記シテ之ヲ下付シ稟申書ハ留置クヘシ

第四章 服務例規

第三十七條 服務時限ハ左ノ如シ但事務繁劇ナルトキハ勿論上官在

廳中ハ時限外タリトモ從事スヘシ

自五月十一日 午前八時出廳午後二時退出

自七月十一日 午前八時出廳正午十二時退出

自九月十一日 午前八時出廳午後二時退出

自十一月十一日 午前九時出廳午後三時退出

第三十八條 各課長以下參廳スレハ親ヲ出勤簿ニ押印スヘシ其疾病



事故アリテ參廳スル能ハサルトキハ參廳時限後三十分マテニ其事  
由ヲ記シ部長及課長ノ檢印ヲ受ケ届出ヘシ

第三十九條 各課員疾病事故アリテ參廳時限ヲ過キ出頭シ又ハ時限  
前退出スルトキハ其事由ヲ課長課長ハ部長ヨニ陳告シ其檢印ヲ受ケタル  
書面ヲ職員課ニ差出スヘシ

第四十條 各課員出張及歸任スルトキハ其事由ヲ記シ部長及課長ノ  
檢印ヲ受ケ届出ヘシ

第四十一條 各課員身上ニ關スル願届書ニハ部長及課長ノ檢印ヲ受  
ケ差出ヘシ

第四十二條 職員課ハ毎日出勤簿ヲ點檢シ第卅八條以下ノ届出アル  
モノハ各種ノ印出張 忌引 遅参 早退 歸省ヲ捺スヘシ  
病氣等ノ類

第四十三條 各課員擔任ノ事項及繁簡ニ依リ課中彼此相補助スル等  
其課長ノ定ムル所ニ從フヘシ

第四十四條 各課員退出スルトキハ其管掌スル書類物品ヲ收藏シ管  
輪ハ當直者ニ交付シ散亂セサル様注意スヘシ

第四十五條 各課員疾病事故アルテ參廳セサルトキ難擱事件ハ處分  
ノ見込ヲ同僚ニ照會シ事務淹滞セサル様注意スヘシ

第五章 當直例規

第四十六條 毎日退出時限ヨリ翌日參廳時限ニ至ルマテ及休日ハ課  
長ヲ除ノ外判任官二名ヲ定員トナシ參廳時限ニ交番當直セシム  
第四十七條 當直ハ時々廳中及構内ヲ巡視シ火ノ元戸締等諸般警戒  
シ暖爐設置中ハ特ニ注意スヘシ



第四十八條 當直中到達ノ文書ハ接受開封シ親展ヲ除至急ヲ要スルモノ及電報ハ直ニ主務ノ部長ニ配付シ其他ハ翌朝庶務課ニ交付スヘシ但親展ニシテ長官宛ハ第一部長ニ其他ハ直ニ主務ノ部長ニ配付スヘシ

第四十九條 當直中送達スヘキ文書電報ヲ各課ヨリ交付スルトキハ直ニ之ヲ發送スヘシ但文書發送ニ關スル帳簿及郵便電信切手ハ退廳ノ際庶務課ヨリ受繼發送スルトキハ該帳簿ニ登記シ翌朝庶務課ニ交付スヘシ

第五十條 當直中ノ事務ハ日誌ニ登記シ文書物品等ヲ交付スルトキハ交付簿ニ領收者ノ捺印ヲ要スヘシ

第五十一條 (書式略ス)

(訓令第貳拾九號) 五月九日

警察署

警察官吏内國旅費並持区内巡回日當左ノ通定ム

但シ本年四月一日ヨリ施行ス

警部警部補管内旅費ハ本年一月丁第壹號達旅費表面ノ額ヲ其官等相當ニ支給ス

巡查内國旅費ハ本年二月廳令第四號看守雇員旅費表面ノ額ヲ支給ス持区内巡回日當警部警部補ハ一日金一圓巡查同金五十錢トス支給方ハ明治十九年内務省令第拾壹號内國旅費概則ニ依ル

(訓令第三拾號) 五月十日

郡區役所



戸長役場

區町村費ヲ以テ支辨スヘキ費目ヲ定ムルコト左ノ如シ

但シ費目ノ増加ヲ要スルトキハ(戸長ハ郡長ヲ經テ)長官ノ指揮ヲ受クヘシ

一 會議費

一 土木費

一 教育費

一 教育補助費

一 衛生及病院費

一 警備費

(訓令第三拾壹號) 五月十日

郡區役所

郡區書記以下職務及進退等ニ關スル事項中左ノ件々ハ特ニ郡區長ニ分任ス

一 郡區長不參ノ節郡區書記又ハ警部ニ代理ヲ命スル事

二 戸長ノ進退具狀ノ事

三 郡區役所戸長役場雇員以下進退ノ事

但懲戒ハ此限ニアラス

四 郡區役所戸長役場雇員以下一周年末ニ於テ賞與手當金給與ノ事

五 町村立小學校長訓導ノ進退具狀ノ事

六 町村立小學校授業生進退ノ事

七 郡區役所戸長役場職員ヲ道廳管内各所ヘ派遣ノ事

八 郡區役所戸長役場職員歸省養病其他私事旅行願ノ許否及除服ヲ



命スル事

九 浦役人進退ノ事

(訓令第三拾貳號) 五月十日

郡區役所

戸長役場

明治十八年六月札幌縣乙第百六號及第百八號達ヲ廢ス

(訓令第三拾三號) 五月十日

郡區役所

郡區役所ニ第一課第二課及第三課ヲ置キ分掌ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一課

一 職員進退及官印廳印管守ノ事

二 文書往復及編輯統計報告ニ關スル事

三 兵事社寺戸籍賑恤及區町村費ニ關スル事

四 學務衛生ニ關スル事

五 他課ノ主掌ニ屬セサル事務ノ事

第二課

一 農商工及漁獵ニ關スル事

二 地理山林ニ關スル事

三 土木營繕ニ關スル事

四 水陸運輸ニ關スル事

第三課

一 豫算決算及出納收支ニ關スル事



- 二 諸稅賦課徵收ニ關スル事
- 三 公債証書諸貸下金及準備米ニ關スル事
- 四 官有建物及廳中財産管守ノ事
- 五 物品ノ購賣及交付ニ關スル事

(訓令第三拾四號) 五月十一日

警 察 署

- 警察署員進退等ニ關スル事項中左ノ件々ハ特ニ警察署長ニ分任ス
- 一 警察署長事故アルトキハ警部又ハ郡區書記ニ代理ヲ命スル事
  - 二 巡査懲罰例ニ據リ巡査以下懲罰ノ事
  - 三 警部以下ヲ道廳管内ヘ派遣ノ事
- 但雖擱場合ニ於テハ直ニ他府縣下ニ派出セシムルヲ得

- 四 警部以下歸省養病願ヲ許否シ又ハ除服出仕ヲ命スル事
- 五 豫算内ヲ以テ巡査以下一週年末ニ於テ賞與手當金給與ノ事
- 六 豫算及定員内ニ於テ巡査及雇ヲ進退スル事
- 七 巡査ニ警部補代理ヲ命スル事
- 八 巡査詰所轉換ノ事
- 九 巡査徵募試験ノ事

(訓令第三拾五號) 五月十四日

郡 區 役 所

本年<sup>三</sup>月已第貳拾六號達第一部歲入諸報告書表樣式徵收濟報告書中營業稅ノ内譯「新規」トアルヲ「何年前(後)半年分新規」ト改ム

(訓令第三拾六號) 五月十七日



警察署 郡區役所

警察署分署郡區役所戸長役場ノ處務細則ハ實務ノ簡便ヲ旨トシ警察署長郡區長ニ於テ適宜相定メ申出ヘシ

但細則ヲ改正増補スルトキハ其都度申出ヘシ

(訓令第三拾七號) 五月十八日

警察署

巡查人員配置ヲ定ムルコト左ノ如シ

但函館警察署定員中巡查二拾九名ハ本年七月以降之ヲ置ク

札幌警察署 巡查 四拾八人

函館警察署 全 百拾六人

龜田警察署	全	二拾八人
福山警察署	全	二拾二人
江差警察署	全	二拾五人
森警察署	全	二拾一人
久遠警察署	全	拾二人
壽都警察署	全	二拾二人
岩内警察署	全	拾一人
古平警察署	全	拾人
小樽警察署	全	二拾五人
石狩警察署	全	拾一人
増毛警察署	全	拾一人



室蘭警察署	巡查	拾二人
勇拂警察署	全	拾四人
浦河警察署	全	拾四人
釧路警察署	全	拾二人
厚岸警察署	全	拾人
根室警察署	全	二拾一人
網走警察署	全	拾人
宗谷警察署	全	八人
紗那警察署	全	八人

(訓令第三拾八號)

五月二十日

警察署

今般廳令第五拾三號ヲ以テ警察分署増設候ニ付テハ左之通心得可シ  
 各分署ニ 函館警察署仲濱町分署ヲ除ク 巡查二名ヲ配置シ其勤務ハ簡易ノ方法ヲ設ケ  
 上申スヘシ

分署ハ戸長役場内ニ設ク但シ従前分署ノ設立アル地ニ於テハ便宜戸  
 長役場ヲ分署ニ移轉スルモ妨ケナシ

(訓令第三拾九號) 五月二十八日

各部

札幌農學校

當廳會計規程別冊ノ通定ム

(別冊)

北海道廳會計規程



第一章 總則

第一條 會計事務ハ會計法規命令ニ基キ此規程ニ據リ之ヲ調理ス

第二條 屯田兵本部樺戸監獄署空知監獄署釧路監獄署北海道鐵道事務所長官函館出張所ノ會計ハ別ニ定ムル所ノ規程ニ據ル

第三條 札幌監獄署函館監獄署根室監獄署郡區役所廳立學校病院ノ會計順序ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 此規程ニヨリ長官ノ裁定檢閲及第四部長若クハ會計主務ノ決判ヲ受クヘキモノハ總テ檢査課ノ査閲ヲ經ヘキモノトス

第二章 豫算

第五條 第一部歳入豫算ハ郡區長ヨリ進達シタル豫算書ニ基キ租稅課ニ於テ檢按總計シ式ニヨリ豫算表豫算明細表及細別表ヲ調製シ

仍ホ郡區ノ細豫算書ヲ添ヘ長官ノ裁定ヲ受ケ大藏省ヘ發送スヘシ

第六條 第二部歳入豫算ハ各部他廳主管ノ分共農學校及郡區役所ヨリ差出タル見込書及第二條ノ各部局ヨリ進達シタル豫算書ニ基キ租稅課ニ於テ檢按シ式ニ據リ豫算表豫算明細表及細別表ヲ調製シ仍ホ各部局ノ細豫算書ヲ添ヘ長官ノ裁定ヲ受ケ主管省ヘ發送スヘシ

第七條 第三部歳出豫算ハ各部及農學校ヨリ差出タル見込書及第二條ノ各部局ヨリ進達シタル豫算書ニ基キ出納課ニ於テ檢按總計式ニ據リ豫算表豫算明細表及細別表ヲ調製シ仍ホ各部局ノ細豫算書ヲ添ヘ長官ノ裁定ヲ受ケ主管省ヘ發送スヘシ

第八條 興業費ノ豫算及營業收支ノ仕譯書ハ公債課ニ於テ取扱前條



ノ手續ヲ經テ大藏省ヘ送付スヘシ

第九條 地方税雜收入ハ各部又ハ郡區役所ヨリ差出タル豫算書ニ基キ租税課ニ於テ檢按總計シ式ニ據リ地方收入豫算帳ヲ調製シ長官ノ裁定ヲ受ケ主管省ヘ進達豫算決定後管下ヘ告示スヘシ

第十條 地方費ノ豫算ハ各部ヨリ差出タル豫算書ニ基キ出納課ニ於テ檢按總計シ式ニ據リ豫算帳ヲ調製シ長官ノ裁定ヲ受ケ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 雜課ノ收支豫算ハ第一部ヨリ差出タル豫算書ニ基キ公債課ニ於テ檢按總計シ長官ノ裁定ヲ受クヘシ

第十二條 歳入歳出豫算ノ令達アルトキハ長官ノ決判ヲ受ケ其主管ノ各所ヘ達スヘシ

第十三條 歳入歳出豫算額ハ出納課及租税課ニ於テ記帳回議書ヲ作り部長決判ノ上各帳簿ヘ登記スヘシ

第十四條 歳入豫算ノ裁定アルトキハ各部局ヨリ進達シタル調書ニ基キ歳入取扱順序第一條第十條ニヨリ租税課ニ於テ月額豫算表ヲ總計調製シ第二部歳入ハ各部局ノ月額豫算表ヲ添ヘ長官ノ決判ヲ受ケ主管省ヘ發送スヘシ但收入期節ノ豫定シ難キモノハ此限ニテラス

第十五條 第三部歳出豫算裁定アルトキハ各部及各部局ヨリ進達シタル調書ニ基キ歳出取扱順序第一條ニヨリ出納課ニ於テ月額仕譯書ヲ總計調製シ長官ノ決判ヲ受ケ大藏省ヘ發送シ其承認ヲ受ケタル後各部局ヘ達スヘシ但支出期節ノ豫定シ難キモノハ全三條ニヨ



リ支拂ヲ要スル毎ニ全上ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 前條ノ承認ヲ受ケタル後期節若クハ金額ノ變更ヲ要スル  
トキハ歲出取扱順序第二條ニヨリ更ニ前條ノ手續ヲ爲シ大藏省ノ  
承認ヲ受クヘシ

第十七條 歲入豫算増減報告書ハ各部各部署第二部各郡區第一部第  
ヨリ差出タル報告書ニヨリ租稅課ニ於テ毎月増減報告書ヲ總計調  
製シ長官ノ決判ヲ受ケ主管省ヘ送付スヘシ但増減ナキ月ト雖モ其  
事由ヲ報告スヘキモノトス

第十八條 第三部歲出豫算項目以下ノ流用ハ當廳經費特別規程ニ  
ヨリ出納課ニ於テ回議書ヲ作り長官ノ決判ヲ受ケ處分ノ後大藏省  
ヘ申報スヘシ

第十九條 第一部第二部歲入第三部歲出科目ノ廢置變更ヲ要スルト  
キハ出納課又ハ租稅課ニ於テ稟議按ヲ具シ長官決判ノ上主管省ヘ  
發送シ其令達ヲ受クヘシ

第二十條 地方費小科目ノ廢置變換及流用ハ長官ノ裁定ヲ受クヘシ  
第二十一條 出納課ニ於テハ歲出取扱順序第三十四條ノ手續ヲ了リ  
タル後第三部歲出豫算殘餘アルトキハ當廳經費特別規程ニ基キ漸  
次翌年度ヘ繰越仕譯書ヲ調製シ長官決判ノ上大藏省ヘ發送スヘシ

第三章 記簿

第二十二條 金錢物品ノ出納及財産増減ノ記簿ハ會計主務ノ決判書  
第一部歲入ハ郡區長ヨリ進達シタル報告ヲ以テ之ヲ登記ス  
歲出取扱順序第九條ノ場合ニ於テハ仕拂切符元帳ニヨリ登記スヘ



第二十三條 歳入歳出及雜部金ニ關スル帳簿ハ成規ニヨリ之ヲ設ク其廢止變更ヲ要スルトキハ事由ヲ具シ長官ノ決判ヲ受ケ主管省ヘ稟議スヘシ

第一項 第一部第二部歳入ニ關スル帳簿ハ租稅課ニ於テ之ヲ調理ス

第二項 第三部歳出及雜部金ニ關スル帳簿ハ出納課ニ於テ之ヲ調理ス

第二十四條 定式ナキ帳簿若クハ物品ニ關スル帳簿ハ第四部長ノ決判ヲ以テ新設變更スルヲ得ヘシ

第二十五條 地方稅地方雜收入徵收ニ關スル帳簿ハ租稅課ニ於テ調

理シ其決算及地方費地方雜部金ニ關スル帳簿ハ出納課ニ於テ各別ニ之ヲ調製ス

第二十六條 記帳ノ後誤謬ヲ發見スルトキハ其事由ヲ詳記シタル會計主務ノ決判書ヲ以テ訂正スヘシ

第二十七條 原簿計算表及歳入所屬第一整理簿ノ計算表ハ毎日其他諸簿ノ計算表及物品ノ殘高表ハ毎月二回主務課ニ於テ調製シ長官ノ檢閲ニ供スヘシ

第二十八條 回議書ハ各科目ニ分類編纂スヘシ

第一項 第二部歳入ニ關スルモノハ租稅課ニ保存ス

第二項 歳出及地方收支其他雜部金ニ關スルモノハ出納課ニ保存ス



第三項 物品財産ニ關スルモノハ用度課ニ保存ス

第四章 金銭出納

第二十九條 金銭ノ出納ハ長官ノ命令ニヨリ會計主務之ヲ執行スルモノトス

第三十條 金銭出納ハ退廳時限二時間前之ヲ閉鎖ス

但臨時至急ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第三十一條 金銭ノ出納ハ左ノ各項ニヨリ各課ニ於テ回議書ヲ作り會計主務ノ決判ヲ受クヘシ

收入部

第一項 第二部歳入ハ取扱主任官ノ收入仕譯書及金庫ヨリ返還セラル上納副書又ハ納付正書

第二項 地方税地方雜收入及雜課ハ郡區役所又ハ取扱主任官ノ收入仕譯書或ハ納金証書

第三項 歳入年度内過誤納下戻金ハ大藏省ノ承認書

第四項 貸付金雜部金ハ取扱主任官ノ收入仕譯書或ハ本人ノ上納証書若クハ各廳ノ通知書

支出部

第五項 俸給ハ出納課取扱主任官ノ明細仕譯書

第六項 惠與ニ係ルモノハ部長若クハ農學校長ノ通知書長官ノ決判ニ係ルモノハ其寫ヲ添フヘシ

第七項 旅費及傭人料其他定例ニヨリ隨時支拂フヘキモノハ部長若クハ農學校長ノ檢印アル本人ノ請求書若クハ主務課ノ仕出書



第八項 物品購入代及修繕料ハ本人ノ請求書外國注文品其他重要ノモノニシテ長官伺濟アルモノハ其寫ヲ添フヘシ

第九項 物品運搬費ハ部長若クハ農學校長ノ檢印アル本人ノ請求書

第十項 營繕土木費ハ部長若クハ農學校長ノ檢印アル本人ノ請求書請負係ルモノハ約定書其他ハ費用内譯書ヲ添フヘシ或ハ主部校ノ通知書長官伺濟ノモノハ其寫ヲ添フヘシ

第十一項 定例成規外ノ經費ハ長官ノ決判書若クハ主務省ノ令達

第十二項 會計整理期限内過渡金ノ返納ハ取扱主任官ノ仕譯書若クハ本人ノ上納書

第十三項 俸給繰上旅費其他ノ概算支出ニ係ルモノハ部長若クハ農學校長ノ檢印アル本人ノ請求書

第十四項 諸經費中特ニ概算支出ヲ要スルモノハ長官ノ決判書

第十五項 地方費雜課ハ各部若クハ郡區長ノ請求書

第十六項 神社費第一部長ノ檢印アル請求書

第十七項 年金恩給ハ本人若クハ遺族ノ請求書賞勳年金証書及生存証書等ヲ檢檢スヘシ

第十八項 第四部歳出ノ支拂ハ主管省伺濟若クハ令達

第十九項 貸付金雜部金ハ取扱主任官ノ仕出書或ハ本人ノ請求書若クハ各廳ノ通知書

第二十項 滙送金ハ各課ノ請求書

第三十二條 歳入年度内過誤納下戻金支拂ハ第三十一條ノ回議書ニヨリ租稅課ニ於テ仕拂切符元帳ニ記入該切符ヲ調製會計主務決判ノ上受取人へ交付スヘシ



第三十三條 歲出ハ第三十一條ノ回議書ニヨリ出納課ニ於テ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十四條 第二部歲入ハ取扱主任官ノ調製シタル收入仕譯書ニヨリ租稅課ニ於テ納額臺帳ニ記入シ納額告知書ヲ調製シ會計主務決判ノ上之ヲ納人ニ交付スヘシ但現金ヲ徵收スル場合ニ於テハ出納課ニ於テ之ヲ領收シ取扱主任官納付書ヲ調製シ金庫ヘ納付スルモノトス

第三十五條 出納規則第十七條ニヨリ歲入現金ヲ徵收シタルトキハ出納課ニ於テ即時報告書ヲ調製シ長官決判ノ上大藏省ヘ送付スヘシ但郡區長ヨリ進達シタルモノモ亦全シ

第三十六條 第三十四條ノ收入金ニ對シ金庫ヨリ上納副書又ハ納付

正書ノ返還アルトキハ租稅課ニ於テ納額臺帳其他ノ帳簿ニ納濟ヲ登記シ第三十一條ノ順序ヲ爲スヘシ

第三十七條 歲出報告ハ出納課ニ於テ毎月之ヲ調製シ長官決判ノ上歲出取扱順序第三十一條ニヨリ主管省ヘ發送スヘシ  
各部局ヨリ進達シタル歲出報告書ハ全順序第三十三條ノ手續ヲ了リ主管省ヘ發送スヘシ

第三十八條 郡區役所及各地出張官吏ヘ交付スル第三部歲出金ハ其請求若クハ月割豫定額ニヨリ出納課ニ於テ第三十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十九條 郡區長ヨリ進達シタル徵稅額報告書ニヨリ毎月租稅課ニ於テ徵稅額表ヲ調理シ長官決判ヲ受ケ歲入取扱順序第三條ニヨ



リ大藏省へ發送スヘシ

第四十條 郡區長ヨリ進達シタル徵收濟報告書ニヨリ毎月租稅課ニ於テ歲入報告書ヲ調理シ長官決判ノ上歲入取扱順序第四條ニヨリ大藏省へ發送スヘシ

第四十一條 内國稅ノ内納期ヲ豫定シタルモノハ十九年大藏省訓令第六號ニヨリ租稅課ニ於テ既未納ヲ詳查シ其報告書ヲ調製シ長官決判ノ上大藏省へ送付スヘシ

第四十二條 郡區長ヨリ進達シタル第二部歲入徵收濟報告書ニヨリ租稅課ニ於テ本廳該當月ノ歲入報告書ニ併算シ長官決判ノ上歲入取扱順序第二十四條ニヨリ大藏省へ送付スヘシ

第四十三條 既納歲入金ノ下戻ヲ要スルトキハ租稅課ニ於テ下戻計

算書ヲ作り長官ノ決判ヲ受ケ歲入取扱順序第五條第二十七條ニヨリ主管省へ請求スヘシ

既納金拂戻ノ認可ヲ得タルトキハ租稅課ニ於テ回議書ヲ作り會計主務ノ決判ヲ受ケ歲入取扱順序第六條第二十九條ニヨリ受取人へ交付スヘシ

第四十四條 前條ノ手續ヲ經タルトキハ租稅課ニ於テ報告書ヲ作り長官ノ決判ヲ受ケ歲入取扱順序第六條第二十九條ニヨリ大藏省へ發送スヘシ

第四十五條 會計整理期限前過渡金ノ追徵ヲ要スルトキハ歲出取扱順序第十六條ニヨリ第三十一條ノ回議書ヲ以テ返納元帳ニ記入シ出納課ニ於テ返納告知書ヲ調製シ會計主務決判ノ上之ヲ納入へ交



付シ其現金ヲ金庫へ返納セシムヘシ

第四十六條 會計整理期限後過渡金ノ追徴ヲ要スルトキハ歳出取扱順序第十七條ニヨリ第三十四條ノ手續ヲ以テ納人へ納額告知書ヲ發付スヘシ

第四十七條 會計整理期限後既往年度ニ属スル經費ノ追給ヲ爲ストキハ大藏大臣ノ承認ヲ受ケタル後第三十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十八條 外國ニ於テ使用スル經費ハ歳出取扱順序第十九條ニヨリ出納課ニ於テ送金請求書ヲ調製シ長官決判ノ上大藏省へ發送スヘシ

本條ノ順序ニ據ラス特ニ該經費ヲ送還スルトキハ相當ノ手續ニヨリ便宜送金スルヲ得ヘシ

第四十九條 雜部金ノ現金ハ總テ國庫金出納所ノ管守トシ出納課若クハ公債課ニ於テ第三十一條ニヨリ出納事務ヲ調整スヘシ

第一項 受入金ハ第三十一條ノ回議書ニヨリ納付書ヲ製シ金庫へ送付スヘシ其領收証ハ出納課ニ保管ス尤官報代金領收証ハ用度課ヨリ特ニ官報局へ送付ス

第二項 前項ノ仕拂ヲ要スルトキハ第三十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三項 毎月金庫ヨリ受拂高ノ報告アルトキハ帳簿ニ照シ長官ノ檢閲ニ供スヘシ

第五十條 地方收支雜課及地方部ニ属スル雜部金ノ現金ハ總テ爲替方チシテ取扱ハシメ出納課若クハ公債課ニ於テ第三十一條ニヨリ出納事務ヲ調理スヘシ



- 第一項 收入金ハ納人ヲシテ現金ヲ爲替方ニ預ケ入レ其預リ切符ニ納金証書ヲ添ヘ納付セシメ第三十一條ノ順序ヲ了シ出納課ニ於テ會計主務官名印ノ領收証ヲ納人ニ交付ス
- 第二項 支出ハ第三十一條ノ回議書ニ據リ出納課ニ於テ仕拂切符ヲ調製之ヲ正當受取人ヘ交付シ爲替方ニ於テ現金ト交換セシム
- 第三項 毎日收支ノ金員甲乙二帳簿一樣ノ登記証印ヲナサシメ爲替方ヨリ之ヲ領置シ取扱主任官証印會計主務割印ノ上一ハ出納課ニ留置キ一ハ爲替方ニ交付ス
- 第五十一條 各所ヨリ各部課ヘ到達スル現金ハ出納課ニ於テ之ヲ管理シ直ニ爲替方ヘ預ケ入ノ順序ヲナスヘシ其取扱順序ハ別ニ之ヲ定ム

- 爲替券預リ券抵當証券ハ總テ全課ニ於テ之ヲ監守ス
- 第五十二條 前條ノ現金ヲ各地ヘ送遣スルトキハ第三十一條ノ順序ヲ了リ出納課ニ於テ相當ノ手續ニヨリ遞送スヘシ
- 第五十三條 準備米ノ拂下並ニ購入ハ公債課ニ於テ回議書ヲ作り長官ノ決判ヲ受クヘシ
- 第五十四條 公債元金償還ノ當籤及利子ハ公債課ニ於テ報告書調製シ日本銀行及渡場所ニアル其代理店ヘ發送スヘシ
- 第五十五條 公債証書ハ原簿人別簿ニ其所有額人名ヲ登記シ所有者變換及割印等第四部長決判ノ上公債課ニ於テ處理スヘシ
- 第五十六條 年金恩給ハ歳出取扱順序第四章ニヨリ其期日ニ先テ仕拂請求書金額及場所仕譯書内譯明細書ヲ出納課ニ於テ調製シ長官



ノ決判ヲ受ケ大藏省ヘ發送スヘシ

交付ノ命達ヲ得タルトキハ第三十三條ノ順序ヲ爲シ然シテ歳出報告書ヲ調製シ歳出取扱順序第三十二條ニヨリ大藏省ヘ發送スヘシ

第五十七條 非職俸給交付ノ命達アルトキハ第三十三條ノ順序ヲ爲シ而シテ歳出報告書ヲ調製シ歳出取扱順序第三十二條ニヨリ大藏省ヘ發送スヘシ

第五十八條 過年度下戻金及ヒ印紙買戻代金郡區長ヨリ請求シ來ルトキハ明治十六年大藏省第七拾三號全十九年全所訓令第三拾八號ニ基キ租稅課ニ於テ請求書ヲ調製シ長官決判ノ上全省ヘ發送スヘシ

第五十九條 歳入金缺損補填金ヲ郡區長其他ヨリ稟申アルトキハ出

納規則書式第六號ニ準シ租稅課ニ於テ請求書ヲ調製シ前條ノ手續ヲナスヘシ

第六十條 第五十八條第五十九條ニ對シ大藏省ノ承認アルトキハ明治十九年大藏省訓令第六拾號第六拾壹號ニヨリ出納課ニ於テ第三十三條及第三十七條ノ手續ヲナスヘシ

第六十一條 主管廳ノ收入ニシテ第二部歳入徵收ノ委托ヲ受クルトキハ歳入取扱順序第十六條第十七條ニヨリ徵收額調書若クハ通知書ニ基キ租稅課ニ於テ納額告知書ヲ調製シ第三十四條ニヨリ各納人ニ發付スヘシ

納額告知書ノ配付ヲ命セラレタルトキハ歳入取扱順序第十九條乃至第二十一條ニヨリ各納人ニ發付スヘシ



第六十二條 諸貸付金歳入報告書ハ諸貸付金整理順序第十二條ニヨリ公債課ニ於テ調製シ歳入取扱順序第二十五條ニヨリ大藏省へ送付スヘシ

諸貸付金徴收済調書郡區長ヨリ進達アルトキハ本廳該當月ノ歳入高ニ併算シ本條ノ手續ヲナスヘシ

第六十三條 左ノ報告書ハ長官ノ決判ヲ受ケ主管省へ發送スヘシ

第一項 會計年度内歳入ノ徴收ヲ完了セサルモノアルトキハ歳入取扱順序第七條第三十三條ニヨリ歳入徴收未済報告書ヲ租稅課ニ於テ調製ス

第二項 會計年度内歳出ノ支拂ヲ完了セサルモノアルキハ歳出取扱順序第三十四條ニヨリ歳出未済報告書ヲ出納課ニ於テ調製ス

第三項 出納閉鎖前歳入ノ徴收ヲ完了セサルモノアルトキハ歳入取扱順序第三十四條ニヨリ不納報告書ヲ租稅課ニ於テ調製ス

第四項 會計ノ整理期限内ニ於テ歳出ノ支拂ヲ完了セサルモノアルトキハ歳出取扱順序第三十五條ニヨリ歳出未済報告書ヲ出納課ニ於テ調製ス

第五項 會計整理期限内概算支出ノ精算ヲ完了セサルモノアルトキハ歳出取扱順序第三十六條ニヨリ精算未済報告書ヲ出納課ニ於テ調製ス

第六十四條 第一部歳入既往年度未納殘高仕譯書ハ十九年大藏省訓令第三十三號ニヨリ租稅課ニ於テ仕譯書ヲ調製シ長官決判ノ上大藏省へ送付スヘシ



第六十五條 出納規則第八十一條ニ該當スルモノアルトキハ出納課若クハ租税課ニ於テ開申按及追表ヲ作り長官ノ決判ヲ受ケ主管省へ發送スヘシ

第五章 收支決算

第六十六條 歳入歳出決算帳ハ出納課若クハ租税課ニ於テ調製シ長官ノ檢閲ヲ受ケ第四部長名若クハ會計主務名印ヲ以テ發送スルモノトス

第一項 租税決算帳ハ該書式ニヨリ租税課ニ於テ調製シ大藏省ヲ經由シ會計検査院へ送付スヘシ

第二項 前項決算内譯證明書ハ該書式ニヨリ租税課ニ於テ調製シ會計検査院へ送付スヘシ

第三項 第二部歳入決算帳ハ歳入出決算帳書式ニヨリ收入仕譯書ヲ添へ租税課ニ於テ調製シ會計検査院へ送付スヘシ

第四項 歳出決算ハ歳出決算證明書式ニヨリ出納課ニ於テ仕譯書ヲ調製シ証書調理順序ニヨリ調理セシ証書ト共ニ會計検査院へ送付スヘシ

第五項 歳出ノ支拂ヲ完了スルトキハ歳出決算證明式ニヨリ決算帳ヲ調製シ會計検査院へ送付スヘシ

第六項 仕拂仕譯書ノ主管廳ヲ經由スヘキモノハ該廳ノ指定ニヨリ仕拂仕譯書又ハ支出証書ヲ添へ送付スヘシ

第六十七條 出納課ニ於テ支拂タル証書ハ毎日検査課ニ於テ検査シ復々出納課ニ回付スヘシ



第六十八條 營業諸費營業收入缺額補填作業益金決算帳ハ公債課ニ於テ取扱ヒ長官ノ檢閲ヲ受ケ直ニ會計檢査院ヘ送付スヘシ

第六十九條 地方收支精算帳ハ出納課ニ於テ調理シ長官ノ決判ヲ受ケ主管省ヘ發送シ決算濟ノ上ハ管内ヘ告示ス

第七十條 準備米ノ精算ハ公債課ニ於テ精算報告及現計書ヲ調製シ長官ノ決判ヲ受ケ大藏省ヘ發送スヘシ

第七十一條 諸貸付金ハ貸付金整理順序ニヨリ公債課ニ於テ報告書仕譯書ヲ調理シ長官ノ決判ヲ受ケ大藏省ヘ發送スヘシ

第七十二條 決算認可狀ヲ得タルトキハ長官ノ閱覽ニ供シ各部局ニ屬スルモノハ該所ヘ送付スヘシ

第七十三條 第三條ノ各所ニ屬スル收支精算完結スルトキハ決算濟

ノ証ヲ第四部長ヨリ發付スヘシ

第七十四條 第二部歳入第三部第四部歳出決算報告書ハ各部農學校及郡區長ヨリ差出タル事跡調書第二條ノ各部局ハ其決算報告書ニ據リ出納課若クハ租稅課ニ於テ總計編製シ長官ノ決判ヲ受ケ大藏省ヘ發送スヘシ

### 第六章 物品出納

第七十五條 需用物品ヲ分ツテ事業用廳中用ノ二種トス

第一項 廳中用ハ用度課ニ於テ所用高ヲ概計シ豫メ之ヲ買置クヲ得ヘシ

第二項 事業用ハ使用者ノ請求ニ應シ時々購入スヘシ

第七十六條 物品ノ購入出納記帳ハ用度課ニ於テ回議書ヲ調製シ第



四部長若クハ會計主務ノ決判ヲ受クヘシ

第七十七條 廳中用品ノ新調スヘキモノハ部長檢印アル使用者ノ請求書事業用品ハ部長若クハ課長ノ檢印アル請求書ニヨリ交付スヘシ

第七十八條 常用ニ非ラサル物品及海外注文品ハ長官決判書ニヨリ用度課ニ於テ購入ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十九條 物品ハ正當受取人ノ証書ヲ得テ交付スヘシ其渡方ノ細則ハ用度課ニ於テ之ヲ定ム

第八十條 製造品及生産物ノ受拂ハ用度課ニ於テ回議書ヲ作り會計主務決判ノ上處分スヘシ

第八十一條 製造品及生産物ノ販賣ニ關スル事務ハ第四部長ノ決判

ヲ受ケ用度課ニ於テ處分スヘシ但之ニ係ル抵當物件取扱モ亦全シ

第八十二條 毀損若クハ不用ニ属シタル物品ハ所用者ノ返納書ト共ニ領收シ其証書ヲ用度課ヨリ發付スヘシ

第八十三條 物品ノ補繕ハ部長ノ檢印アル所用者ノ請求書若クハ用度課ノ見込ニヨリ第四部長ノ決判ヲ受ケ着手スヘシ

第八十四條 不用物品ノ賣却ハ第四部長ノ決判ヲ得用度課ニ於テ處分スヘシ

第八十五條 物品ヲ各地ニ運搬セントスルトキハ用度課ニ於テ遞送調書ヲ作り第四部長決判ノ上送付スヘシ

### 第七章 財産管理

第八十六條 本廳所屬ノ財産ハ總テ用度課ニ於テ之ヲ管理ス但管理



リ方法財産ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム

第八十七條 財産ノ讓與貸借ハ用度課ニ於テ回議書ヲ調製シ長官ノ裁定ヲ得處分スヘシ

第八十八條 財産ノ増減ハ用度課ニ於テ財産臺帳ニ登記スヘシ

第八十九條 財産ハ毎年末其帳簿ニ據リ用度課ニ於テ統計表ヲ調製シ長官ノ檢閲ニ供スヘシ

第九十條 財産ニ關スル諸帳簿様式ハ第四部長ノ決判ヲ以テ制定スヘシ

第八章 雜則

第九十一條 歲出金及米穀ノ棄捐ヲ要スルトキハ主務課ニ於テ事由ヲ具シ長官ノ決判ヲ受ケ主管省ノ裁定ヲ受クヘシ

第九十二條 歲入官損ヲ郡區長其他ヨリ稟申アルトキハ租稅課ニ於テ稟申按テ作り長官決判ノ上大藏省へ稟申スヘシ

第九十三條 財産製造品ノ缺損拂ヲナストキハ用度課ニ於テ事由ヲ具シ長官ノ決判ヲ受ケ重要ノ事件ト認ムルモノハ主管省へ開申スヘシ

第九十四條 地方收支ノ棄捐ヲ要スルトキハ主務課ニ於テ事由ヲ具シ長官ノ裁定ヲ受ケ主管省へ開申スヘシ

第九十五條 會計ニ關スル統計表ヲ檢査課ニ於テ調製シ長官ノ閱覽ニ供スヘシ

第九十六條 各部局及郡區役所其他ノ出納實況ヲ檢査課ニ於テ其狀況調書ヲ以テ長官へ具申スヘシ



第九十七條 爲替方預ケ金及關係ノ帳簿ヲ検査課ニ於テ検査シ其實況調書ヲ以テ長官ヘ具申スヘシ

第九十八條 爲換方ヨリ抵當トシテ差出タル預ケ金額ニ對スル公債証書ハ其預ケ高ニ過不足ヲ生スル毎ニ出納課ニ於テ隨時之ヲ増減スヘシ

第九十九條 金錢出納ニ關スル重要ノ帳簿ハ主簿者之ヲ管理シ退廳ノ時ハ文庫ニ藏ムヘシ

(訓令第四拾號) 五月二十八日

警察署  
郡區役所  
戸長役場

客年中傳播流行ヲ極メシ虎列刺病ノ殘毒温暖ノ氣候ニ乘シ再燃ノ憂ヒ有之既ニ本年一月以降京都府外八縣ニ於テ病者ヲ散發シ東京府下ハ四月以來數名ノ同症患者ヲ發生セリ抑該病毒タル常ニ汚濕不潔ノ地ニ蟄伏蕃殖シ時ニ害毒ヲ逞フスルモノニ付其媒介トナルヘキモノハ之ヲ排除シカメテ土地家屋ヲ清潔ナラシメ病毒ヲ未發ニ防遏スルハ豫防法ノ主要ニシテ目下ノ急務ナルヲ以テ此際人家稠密ノ場所ハ勿論客年虎列刺病發生セシ地方ニ於テハ土地ノ狀況ヲ斟酌シ家屋ノ掃除下水溝渠ノ浚渫尿尿塵芥ノ排除方等適宜着手可致且ツ人民ニ懇篤説諭シ各自攝生警戒ノ緊要ナルヲモ領知セシメ公私相濟ヒ以テ慘酷ノ病害ヲ未然ニ防禦スヘシ

(訓令第四拾壹號) 五月二十八日



郡區役所  
戸長役場

明治十九年<sup>十月</sup>内務省令第貳拾貳號戸籍取扱手續ニ依リ發送スル送籍  
狀ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

但兵事取調書ヲ要スル徵兵既行地ノ送入籍ハ該調書寫ヲ添時々函  
館出張所へ届出ヘシ

一全戸送籍狀ニハ現在戸籍並ニ舊戸籍ノ全寫

但從來加除ノ儘謄寫シ加除訂正スヘカラス

一重罪ノ刑ニ處セラレタルモノ及ヒ公權停止中ノモノハ刑名宣告書  
寫又ハ既決犯罪表寫

一全戸送籍ト人別ノ送籍トヲ問ハス滿十七年ヨリ滿二十年ノモノ及

ヒ常備後備役豫備徵員ノ兵籍ニアルモノ徵兵令第十七條十八條十  
九條ニ依リ徵集猶豫トナリタルモノハ左ノ雛形ノ取調書

雛形

第何號送籍狀兵事ニ關スル取調書

一何年何月滿十七年

何 某

一何年徵兵(現役)(補充)(豫備役)(後備軍)驅員(兵員)近衛(海軍)  
(鎮台)兵種番號何年歸休兵(除隊)

一何年徵兵第一(第二)豫備徵員

一何年徵兵徵兵令第何條何項相當徵集猶豫又ハ何々事故ニ依リ翌  
年廻(先入兵)(入營延期)

一兄又ハ弟某何年何月何日近衛(海軍)(某鎮台)兵種中隊號現役中死



一 沒又ハ公務ノ爲メ負傷シ若クハ疾病ニ罹リ免役  
一 兄又ハ弟某近衛(海軍)(某鎮台)兵種中隊號現役中

一 明治六年以前又ハ明治何年月日ヨリ北海道徴兵未行地在籍

(訓令第四拾貳號) 六月一日

郡區役所

戸長役場

官有地貸下規則取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 官有地貸下願出ルキハ書類ヲ審査シ實地調査ヲ遂ケ規則第

三條ニ據リ期限ヲ定メテ貸下ヘシ

第二條 貸下許可ノ際ハ手数料金八厘ヲ徴収シ貸地証下付スヘシ

但貸地証ハ貸地臺帳ヘ割印スヘキモノトス

第三條 堤塘并ニ寄洲ハ勿論河岸水害ノ憂之レアル土地及水源涵養

土砂扞止等ヲ妨クル恐レアル山野ハ貸下ク可ラサルモノトス

海産乾場及冷温泉地等貸下願出タルトキハ第一條調査ノ手續ヲ經

當廳第二部ヘ送達スヘシ

但海産乾場ハ營業差支ナキ旨意見書ヲ添付スヘシ

第四條 貸下滿期繼續願ハ三ヶ月以前ニ出願セシムヘシト雖モ若シ

期限經過願出ルトキハ料金ハ引續徴收スヘシ

第五條 貸地料徴收ハ農商務省訓令第拾三號明治十九年八月官有地諸收入

金徴收規程ニ據リ取扱フヘシ

第六條 官有地貸下年度ノ算數ハ曆年度ニ依ルヘシ但坑業及土石堀

採ノ爲メ貸下年度ハ滿年トス



第七條 山野ニ於テ肥草秣刈取願ハ一時拂下クルモノト年季ヲ期シ  
拂下クルモノアリト雖トモ事實土地ヲ借用スルモノハ五ヶ年以内  
ノ年季ヲ以テ貸下ヘシ

第八條 貸下及取消等處分濟内務省主管ニ係ル土地樹林地及原野地  
ニアラサルモノハ

同省令第拾七號明治十九年九月報告例目表式ニ據リ季報ハ四月、七月、二月限

リ全年報ハ出納閉鎖後十五日以内農商務省主管ニ係ル土地樹林地及  
原野地

ハ同省訓令第壹號明治十九年四月表式ニ據リ上半季分ハ其年七月卅一日

限リ下半季分ハ翌年一月三十一日限リ貸地料ハ同省訓令第貳號

明治二十年甲乙號表式ニ據リ出納閉鎖後十五日以内ニ當廳第二部へ

報告スヘシ

第九條 貸地証下付及返納セシ員數ハ毎年十二月二十八日限リ當廳

第三部へ報告スヘシ

(訓令第拾三號) 六月一日

郡區役所

戸長役場

明治十九年八月本廳已第拾四號全年九月函館支廳乙第拾壹號及根室支

廳乙第拾四號達北海道土地拂下規則施行手續取扱方左ノ通改正ス

第一條 土地貸下願出ルトキハ郡區役所ニ於テ其書類ヲ審査シ方法

確實ト認ムルモノハ實地ヲ踏檢シ土地ノ景況ト事業ノ難易トニヨ

リ貸下期限ヲ定メ貸與スヘシ

但制限外ノ土地及海産乾場貸下願出タルトキハ本條調査ノ手續

ヲ經海産乾場ハ營業差支ナキ旨意見書ヲ付シ其他ハ財産調書ヲ